

10

使用説明書



日本電産

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。

このカメラは「簡単操作で思いどおりの写真が撮れる」をテーマに開発された、ベテランカメラマンのためのオートフォーカス(Auto Focus: AF/自動ピント合わせ)一眼レフカメラです。

豊富な機能を利用して意図したとおりの撮影ができるだけでなく、日常の記録写真を気軽に撮ることもできます。また、バーコード付きの写真作例集を利用すれば、初めて一眼レフカメラを手にする方でも思い通りの写真を撮ることができます。使用説明書をよくお読みいただき、十分にご理解のうえ EOS 写真の世界をお楽しみください。

使用説明書の構成

この使用説明書は初級編、上級編、応用編、資料編で構成されています。

初めて一眼レフカメラをお使いになる方は必ず初級編からお読みください。

既に一眼レフカメラや写真に対する知識をお持ちの方はその知識に合わせて、上級編からお読みいただいても構いません。

主な特長

1. 思いのままにピントが合う高性能 AF 一眼レフカメラ

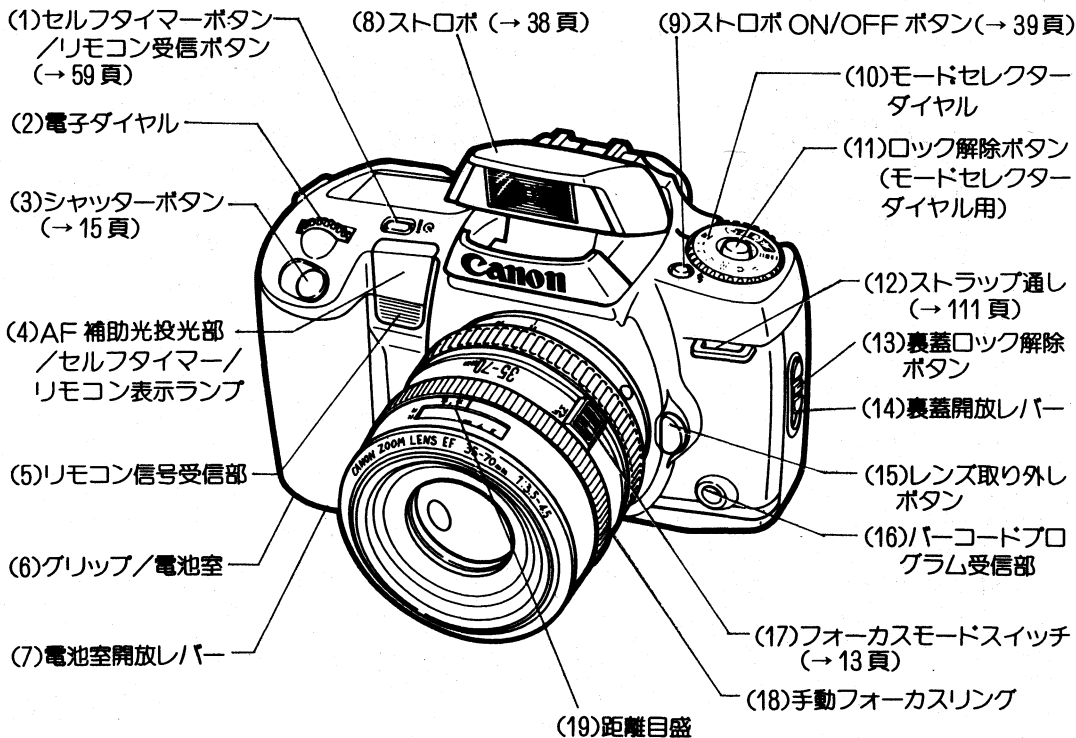
- ・ 広い視野でオートフォーカスを可能にした切り換え可能な3つの AF フレーム。
 - ・ 作動限界 EV 0、マルチ BASIS 測距点对应の AF 補助光により暗さに強い AF。
2. 撮りたいイメージをそのまま入力
 - ・ 作例写真集およびバーコードリーダーとで作例と同じような写真を簡単撮影。
 - ・ 4つのイメージセレクトによる簡単撮影。
 3. 測距点にも連動した露出制御
 - ・ マルチ BASIS 測距点に対応した評価測光と TTL 自動調光。
 4. 手振れ検知による手振れ限界プログラム AE。
 5. シャッターチャンスに強いモータードライブ
 - ・ 秒間5コマの高速モータードライブ。
 - ・ 応用分野の広いインターバルタイマー内蔵。

表紙と裏表紙の各部の名称を図のように開いてご覧ください。



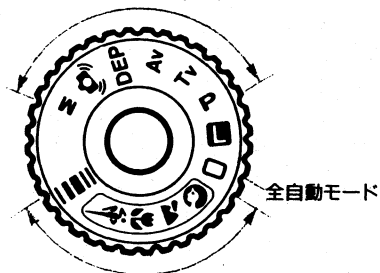
・本文中の(→■頁)は参照頁を示しています。

各部の名称



モードセクターダイヤル

クリエイティブゾーン



イメージセレクトゾーン

クリエイティブゾーン

M (マニュアル) (→ 57 頁)

📷 (手振れ限界プログラム AE) (→ 55 頁)

DEP (深度優先 AE) (→ 50 頁)

AV (絞り優先 AE) (→ 48 頁)

TV (シャッター優先 AE) (→ 46 頁)

P (インテリジェントプログラム AE) (→ 43 頁)

L (ロック)

□ (全自動) (→ 20 頁)

イメージセレクトゾーン

👤 (ポートレート) (→ 22 頁)

🌄 (風景) (→ 23 頁)

🌸 (クローズアップ) (→ 23 頁)

🏃 (スポーツ) (→ 24 頁)

📊 (バーコード) (→ 24 頁)

主な機能

(1)セルフタイマー/リモコン受信ボタン (→ 59 頁)

セルフタイマー撮影あるいはリモートコントロール RC-1 (別売) を使って撮影するときこのボタンを押します。

(2)電子ダイヤル

シャッター速度や絞りの数値をセットすると同時に、他のボタンとの組み合わせで機能の切り換えを行います。

(3)シャッターボタン (→ 15 頁)

二段スイッチになっています。一段目でピントと露出が決まり、二段目でシャッターが切れます。

(4)ストロボ ON/OFF ボタン (→ 39 頁)

モードセレクターダイヤルのクリエイティブゾーンでストロボを使用するときこのボタンを押します。

(10)モードセレクターダイヤル

モードセレクターダイヤルは電源スイッチを兼ねています。

L を境にして図のようにイメージセレクトゾーンとクリエイティブゾーンの 2 つの部分からなっています。ロック解除ボタンを押しながら、

希望するマークを選択するとカメラに電源が入り、選んだ撮影モードですぐに撮影を始めることができます。

(11)ロック解除ボタン

モードセレクターダイヤルのロック解除ボタンです。

(17)フォーカスモードスイッチ (→ 13 頁)

ピント合わせの自動/手動を切り換えます。

(23)途中フィルム巻き戻しボタン (→ 21 頁)

このボタンを押すと撮影途中のフィルムを巻き戻すことができます。

(26)露出補正ボタン (→ 67 頁)

電子ダイヤルと組み合わせて、AE 露出の補正を行います。






(27)AF モード選択ボタン (→ 33 頁)

電子ダイヤルとの組み合わせで、2 種類のオートフォーカスを切り換えます。

ONE SHOT:止まっているものを撮るとき
AI SERVO:動いているものを撮るとき

目次

- (28) ファンクション（基本機能）選択ボタン
電子ダイヤルとの組み合わせで、フィルム送り／フィルム感度／オートブラケティング／多重露出／インターバルタイマー／電子音の有無を変更します。
- (29) 部分測光／手動絞りセット／タイマーセットボタン（→ 64 頁、57 頁、25 頁）
- (30) AF フレーム選択ボタン（→ 32 頁）
電子ダイヤルとの組み合わせで、AF フレームを選択します。

I 初級編	9
[1] 撮影の準備と練習	10
1. 電池を入れましょう	10
2. 電池をチェックしましょう	11
3. レンズを取り付けましょう	12
4. カメラの構え方を練習しましょう	14
5. シャッターボタン押しに慣れましょう	15
6. オートフォーカスに慣れましょう	16
[2] 撮影しましょう	18
1. フィルムを入れましょう	18
2. 撮影しましょう	20
1) 全自動（ ) による撮影	20
2) フィルムの巻き戻し	21
3. イメージセレクトゾーンでの撮影	22
1) ポートレート（ )	22
2) 風景（ )	23
3) クローズアップ（ )	23
4) スポーツ（ )	24
5) EOSアートコードブックの世界を撮る	24
4. クォーツデート	25
1) 日付のセット	25
2) 時刻のセット	27
3) 日付／時刻の写し込み	29

II 上級編	31	6) マニュアル露出	57
1. AF フレームの切り換え	32	7) セルフタイマー	59
2. オートフォーカスの切り換え	33	6. 露出警告一覧表	61
1) ONE SHOT (ワンショット)			
オートフォーカス	33		
2) AI SERVO (エーアイサーボ)			
オートフォーカス	34		
3. フィルム巻き上げの切り換え	36	III 応用編	63
1) 一枚撮り (□)	36	1. 部分測光	64
2) 連続撮影 (📷)	36	2. 露出補正ボタンによる露出補正	67
4. 内蔵ストロボ	38	3. オートブラケティングによる	
1) 自動発光	38	露出補正(AEB)	68
2) 手動発光	38	4. 多重露出(ME)	71
5. クリエイティブゾーンでの撮影	43	5. バルブ (長時間露出) 撮影	73
1) インテリジェントプログラム AE(P)	43	6. インターバルタイマー撮影	75
2) シャッター優先 AE(TV)	46	7. オートフォーカスができないとき	
3) 絞り優先 AE(AV)	48	(手動ピント合わせ)	78
4) 深度優先 AE(DEP)	50	8. フィルム感度の手動セット	79
(1) オートアプス撮影	50	9. 電子音の解除	80
(2) マニュアルアプス撮影	52	10. カスタム機能	81
5) 手振れ限界プログラム AE (📷)	55		

IV 資料編	87	VI 取り扱い上のご注意	101
1. パネル表示の一覧	88	1. お手入れの方法	102
2. ファインダー内表示の一覧	89	2. 保管の方法	103
3. プログラム線図	90	3. その他の注意事項	104
4. イメージセレクト、 全自動の機能組み合わせ一覧表	92	VII 主要性能表	107
5. AF モードとフィルム巻き上げの関係	93		
6. 電池の寿命 (フィルム給送本数)	94		
V 主なアクセサリ	95		
1. スピードライト	96		
1) 専用キヤノンストロボ	96		
2) その他のキヤノンストロボ	97		
3) 汎用ストロボ	97		
2. リモートコントローラー RC-1	98		
3. 延長グリップ RC-60	99		
4. 視度補正レンズ	100		

I 初級編

初めて一眼レフカメラをお使いになる方は、
必ずこの初級編からお読みください。
撮影前の準備から気軽に写真が撮れる方法ま
でを順番に説明しています。

保証書について

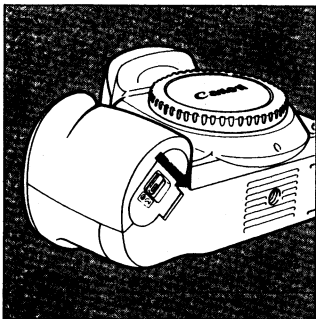
同封されている「ご愛用者カード」をお送りください。
キヤノンEOSご愛用者として登録させていただくと
同時に、本製品の「国際保証書」をお送りいたします。
もしご愛用者カードをお手元に置かれますと、万一故障
した際、保証期間内の無料修理を受けることができま
せんのでご注意ください。

「ご愛用者カード」は必要事項をご記入のうえ、ご投函
またはご購入店にお渡しください。尚お送りくださる際、
販売店名印がない場合は、お手数ながら手書きにて店名、
住所(または所在地名)、電話番号をご記入のうえお送り
ください。

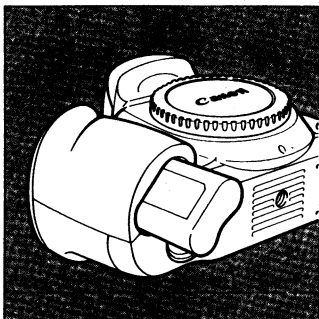
[1] 撮影の準備と練習

1. 電池を入れましょう

電池はリチウム電池パック(2 CR5、6V)1個を使用します。

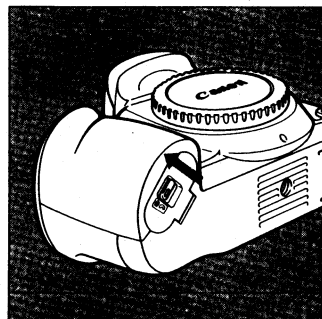


1 電池室開放レバーを矢印の方向にスライドさせて電池室の蓋を開けます。



2 電池は＋の接点をまちがえないようにして入れます。

・このカメラにはクォーツデートが内蔵されており、日付/時刻を写真に写し込むことができます(→29頁)。



3 電池室の蓋を閉じて電池室開放レバーを矢印の方向にスライドさせます。

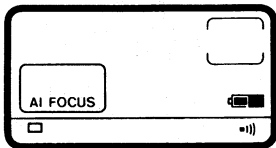
・正しい日付/時刻をセットしなくてもカメラの操作には支障ありません。カメラの操作になれば正しい日付と時刻をセットしてください(→25頁)。

2. 電池をチェックしましょう

電池を入れたら電池の電圧を確認してください。

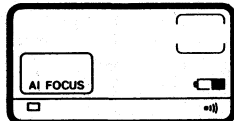
モードセクターダイヤル中央のロック解除ボタンを押しながら、モードセクターダイヤルをPか□にセットしたとき、表示パネルに図のような電池マーク(■)が点灯すれば電池電圧は充分です。

(表示例)



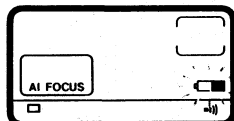
- ・シャッターボタンを押さなければモードセクターダイヤルがどのマークにセットされていても電池はほとんど消耗しません。
- ・カメラを使用しないときは、不用意なシャッターボタンの半押しによる電池の消耗と無駄写しを防ぐために、必ずモードセクターダイヤルをLにしてください。

① ■マークが点灯



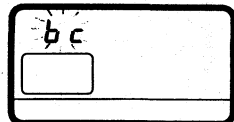
新品電池をご用意ください。

② ■マークが点滅



新品電池に交換してください。

③ bc マークが点滅



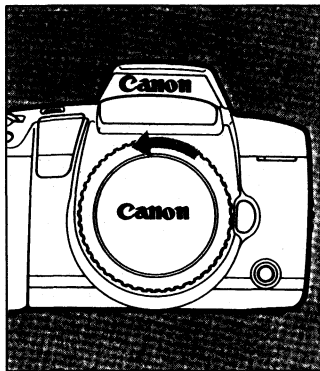
104頁を参照してください。

- ・撮影前は必ず電池をチェックしてください。
- ・ご旅行にお出かけのときや、写真をたくさん撮られるときは、万一の場合に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によって電池の入手が困難なことがあります。

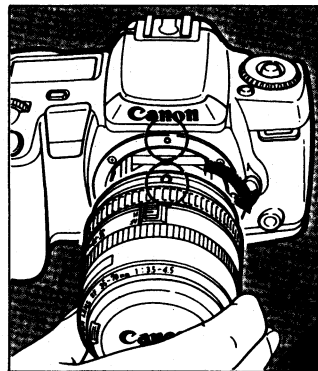
3. レンズを取り付けましょう



1 レンズの底ぶたを矢印方向に回して外します。



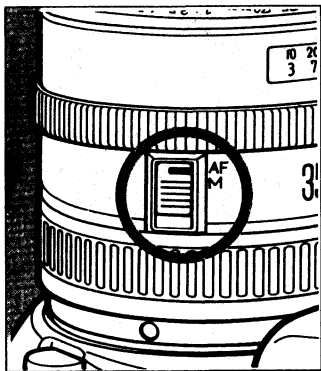
2 ボディキャップを矢印方向に回して外します。



3 レンズとカメラの赤いマークを合わせて、レンズを矢印の方向にカチッと音がするまで回します。

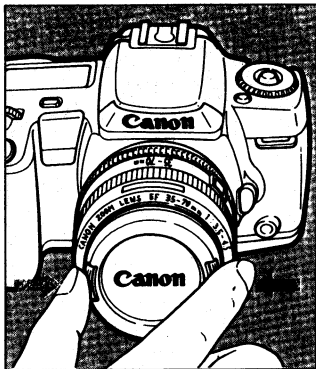
・レンズを外すときは、レンズ取り外しボタンを押しながら逆方向に回します。

EOS は、完全電子化マウントにより、専用のキャノン EFレンズとの間でピント・露出調節のための情報交換を行なっています。他社製のレンズを EOS に使用すると、カメラまたはレンズが正常機能を発揮しないことがありますのでご注意ください。また、他社製品との組み合わせ使用に起因する事故、故障等につきましては保証いたしかねます。

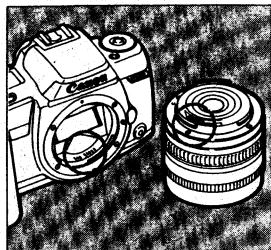


4 レンズのフォーカスモードスイッチをAFにセットします。

・Mになっているとオートフォーカスはできません。



5 レンズキャップを外します。



- レンズの置き方…レンズをはずしたときは、図のように電気接点やレンズ面を傷つけないように、カメラの取り付け面を上にして置いてください。
- カメラとレンズの接点と注意…レンズとカメラには、図のように各種の電気接点があります。汚れ、傷、指紋がつくと接触不良や腐食の原因となることがありますので、取り扱いにはご注意ください。

4. カメラの構え方を練習しましょう



撮影のときにカメラが動くことを「手振れ」と呼びます。手振れ写真はいわゆるピンボケとは違い、全体がボケた写真となりシャープに写っているところがありません。

シャープな写真を撮るために、カメラが動かないように次のように構えてください。



1 カメラのグリップを右手で包むようにしっかりと握り、ひじを軽く体につけます。

3 カメラを額につけるようにして、ファインダーを覗きます。



2 左手でレンズ部を支えるように持ちます。

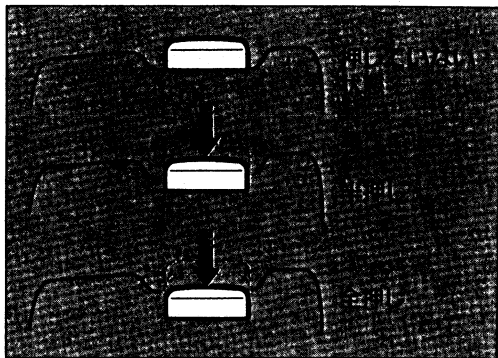
4 両足を揃えずに、片足を軽く踏み出して体を安定させます。

5. シャッターボタン押しに慣れましょう

EOS のシャッターボタンは二段階になっています。シャッターボタンの一段目と二段目の違いに慣れるために、シャッターボタン押しを練習してください。

軽く押すと一段目。レンズが動いて撮りたいもの（被写体）にピントが合うと同時に露出が決まり、ファインダー内に表示が現れます。この一段目まで軽く押す操作を「半押し」といいます。

「半押し」の状態からさらに押すとシャッターが切れます。このとき、手振れを防ぐために右手全体でグリップを握るような感じでゆっくりとシャッターボタンを押してください。



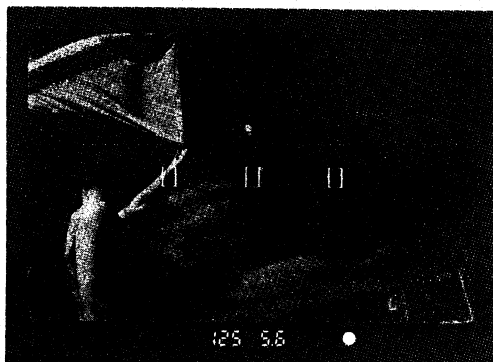
- ・指がシャッターボタンから離れている状態から一気にシャッターボタンを押すと手振れを起こす原因になります。必ずシャッターボタン半押し状態から撮影してください。

6. オートフォーカスに慣れましょう



練習を始める前にロック解除ボタンを押しながらモードセクターダイヤルを **□** にセットしてください。

1 構図を決めます。



2 シャッターボタンを「半押し」します。

ファインダー内の表示

シャッターボタンを半押しして、被写体にピントが合うと、ファインダー内には合焦ランプおよびシャッター速度と絞り値が表示されます。なお、表示パネルにも露出表示（シャッター速度、絞り値）が現れます。

・合焦ランプが点滅するときはシャッターが切れません。78頁を参照してください。

3 半押し状態からそのままさらにシャッターボタンを押してシャッターを切ります。

ここまでの操作を何回か繰り返して練習してください。

- 被写体が暗いとストロボが自動的に発光します。電池の消耗を防ぐために明るい被写体で練習することをお勧めします。

自動ピント合わせについて

ピントが合うと被写体を捉えた AF フレームが一瞬赤く光ります。

ファインダーには自動ピント合わせのための3つの AF フレームがありますが、ほとんどの場合このフレームを気にする必要はありません。

人にやさしいEOS

EOS は二通りの電子音で次のことをお知らせします。

1) ビビッ！ (短い電子音)

ピントが合いました。そのまま撮影してください。

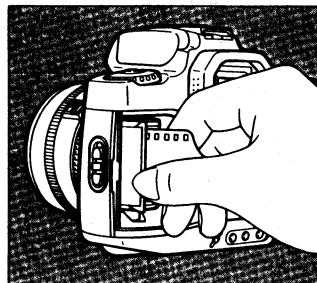
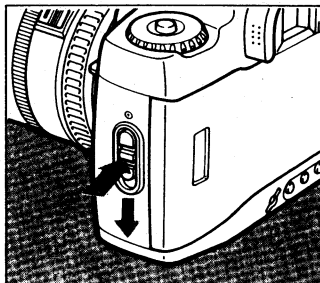
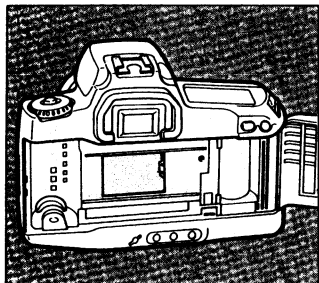
2) ビビビビビビッ！ (断続電子音)

手振れに注意して撮影してください。

(詳細は 90 頁をご参照ください。構え方とシャッターボタンの押し方に注意して撮影してください。)

[2] 撮影しましょう

1. フィルムを入れましょう

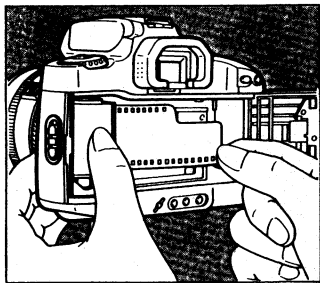


シャッター幕は非常に高い精度で作動しますので、絶対に手を触れないでください。また、フィルムを入れる際に誤って指やフィルムでシャッター幕を破損・変形させないように充分ご注意ください。

フィルムの感度は自動的にセットされます（ごく一部の特殊なフィルムを除く）。

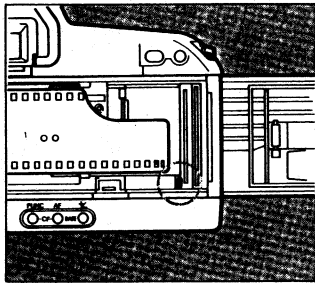
1 裏蓋ロック解除ボタンを押し、そのまま裏蓋開放レバーを押し下げて裏蓋を開きます。

2 図のように、フィルム室にフィルムを入れます。



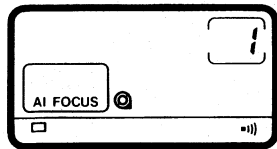
3 フィルムがたるまないようにして、フィルムの先端をオレンジマークに合わせます。


- ・フィルムを引き出し過ぎたときはパトローネ（フィルム容器）に少し巻き戻してください。



4 フィルムの先端がオレンジマークに合っていることを確認して裏蓋を閉じます。

- ・裏蓋を閉じると、自動的にフィルムを巻き上げ1枚目にセットします。



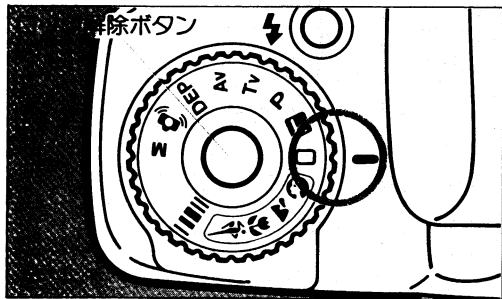
表示パネルにフィルムマーク（)とフィルムの1枚目を意味する“1”が表示されます。

- ・フィルムマークが点滅した場合はフィルムが正しくセットされていないので、裏蓋を開けてフィルムを入れなおしてください。
- ・フィルムが正しくセットされていないとシャッターボタンを押してもシャッターは切れません。

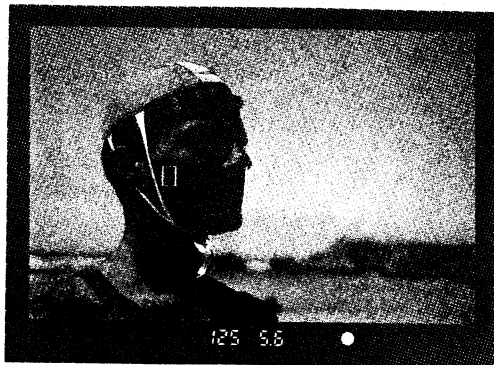
2. 撮影しましょう

1) 全自動 (□) による撮影

全自動は、どのような被写体でも気軽に撮影できるようにピント合わせ、露出、フィルム送りなどの方法が、あらかじめセットされています。

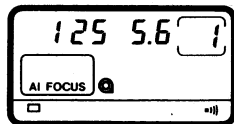


1 モードセレクターダイヤル中央のロック解除ボタンを押しながらモードセレクターダイヤルを □ にセットします。




2 シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、さらにシャッターボタンを押して撮影します。

- ・表示パネルとファインダー内にシャッター速度と絞り値が表示されます。
- ・被写体が暗いときや逆光のときはストロボが自動的に発光します。



2) フィルムの巻き戻し

このカメラはフィルムが終わると、自動的にフィルムを巻き戻します。戻し中は表示パネルのフィルム枚数表示が減っていきます。

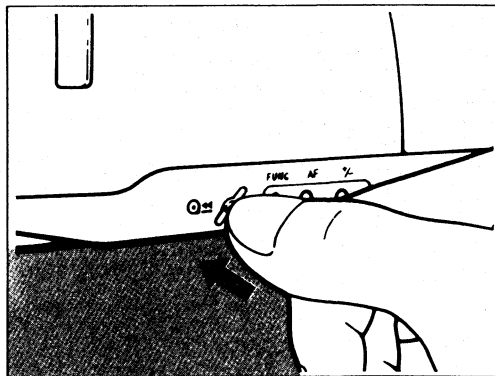
巻き戻しが終了すると、巻き戻しは自動的に止まり、表示パネルのフィルムマーク () が点滅します。

人にやさしいEOS

AI FOCUS について

全自動ではオートフォーカスが AI FOCUS になります。これは AF フレームの自動選択に加えて、カメラが被写体の動きを検知して、被写体が動いていなければ ONE SHOT、動いていれば AI SERVO (→ 34 頁) というようにオートフォーカス方式を自動的に切り換える機能と、3つの AF フレームから1つを選んでピントを合わせる機能を組み合わせたものです。

- ・ AI SERVO に切り換わるとピントが合っても合焦マークは点灯しません。
- ・ AI FOCUS を任意に選ぶことはできません。
- ・ 動いている被写体を撮るときは、まず中央でピントを合わせて下さい。



フィルムの途中巻き戻し

フィルムを最後まで撮り終える前に現像に出したいときは、モードセレクターダイヤルを1以外の位置にセットし、爪先などで途中フィルム巻き戻しボタンを押してください。

3. イメージセレクトゾーンでの撮影

イメージセレクトゾーンの撮影ではそれぞれにふさわしい測光方式や AF モードなどがあらかじめ組み合わされていますので、ご自分でセットすることはできません。

- ・それぞれの組み合わせ内容については 92 頁を参照してください。

背景を効果的にボカすには、頭から腰がファインダー内に一杯になるくらいに人物を大きく捉えてください。背景は人物からできるだけ離してください。

また望遠系のレンズがより効果的です。ズームレンズをお使いの方はレンズを望遠側にして撮影してください (28-70 mm のレンズなら 70 mm、35-135 mm のレンズなら 135 mm です)。



1) ポートレート (P)

背景をボカして人物を浮き立たせて撮影するときにセットします。

- ・ポートレートはフィルム巻き上げが連続撮影 (→ 36 頁) になっています。シャッターボタンを押し続けると連続撮影できます。



2) 風景 (🌄)

近景から遠景までを鮮明に撮影するときにセットします。

広角レンズをご使用になれば、近景から遠景までの奥行き感に加えて、横の広がりも表現することができます。



3) クローズアップ (📷)

草花や昆虫を大きく撮るときにセットします。クローズアップ時のピント合わせは中央の AF フレームとなりますので、被写体を中央の AF フレームに合わせてください。

- 手振れ警告の電子音が鳴った場合は、カメラの構え方とシャッターボタンの押し方に十分注意して撮影してください。
- 三脚をご使用になればより安心です。
- 本格的なクローズアップ撮影にはマクロレンズの使用をお勧めします。



4) スポーツ (📷)

スポーツや運動会などの動きの速い被写体を撮るときにセットします。スポーツ撮影には望遠系のレンズをお勧めします。

ファインダーから目を離さずに、シャッターボタンを半押しのまま撮りたいものを追いつけてください。EOS がピントを合わせ続けます。

- ・初めに中央でピントを合わせてください。
- ・シャッターボタンを押し続けければ連続撮影になります。

5) EOSアートコードブックの世界を撮る
別誌のEOSアートコードブックとバーコードリーダーを利用することによって、初めて一眼レフカメラを手にする方にもアートコード誌にみるような美しい写真を撮ることが出来ます。

- ・EOSアートコードブックの撮影データを読み込む前のカメラの状態は全自動と同じです。
- ・イメージセレクトゾーンで外付けストロボを使用するとイメージどおりの写真が撮れないことがありますので、外付けストロボは使用しないでください。

4.クォーツデート

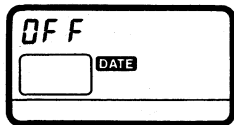
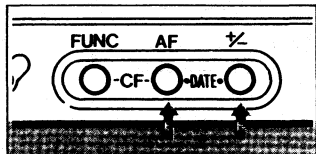
日付と時刻のセットおよび写し込みのセットは、モードセレクトダイヤルのL以外の全ての位置で行えます。

1)日付のセット

<例として1990年3月15日をセットします>

1 モードセレクトダイヤルをL以外にセットします。

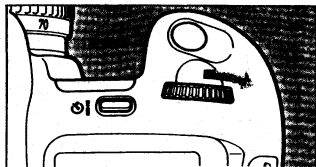
2 露出補正ボタンとAFモード選択ボタンを同時に押します。



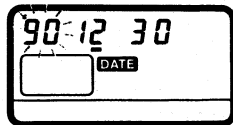
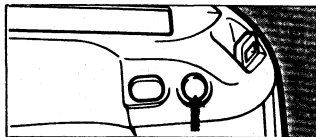
・表示パネルに **DATE** と OFF が表示されます。日付けを写し込みたくないときは OFF にしてください。

3 電子ダイヤルを矢印の方向に1段回します。

・表示パネルは OFF から年・月・日の表示に変わります。

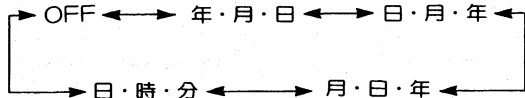


4 部分測光ボタンを押して年の表示を点滅させます。



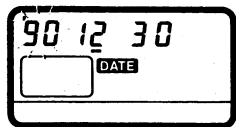
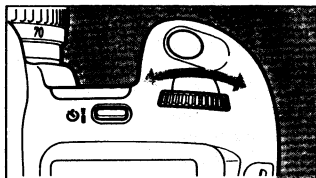
・ボタンを押すごとに点滅する数値が年、月、日と順に移動します。

電子ダイヤルを回す方向によって、表示は次のように変わります。

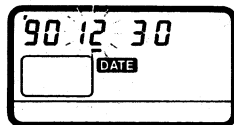


・数字の下にあるバーは月を表します。

5 電子ダイヤルを回して正しい年をセットします。

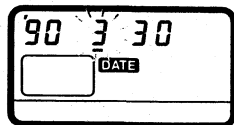


6 部分測光ボタンを押します。

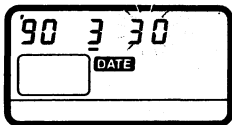


・年の表示部に '90' がセットされ、月の表示が点滅します。

7 電子ダイヤルを回して3をセットします。

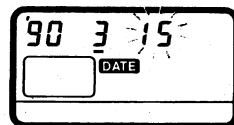


8 部分測光ボタンを押します。

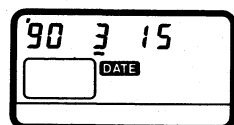


・月の表示部に 3 がセットされ、日の表示が点滅します。

9 電子ダイヤルを回して15をセットします。

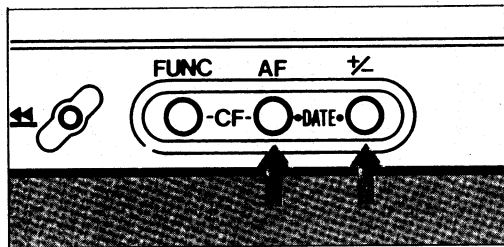


10 部分測光ボタンを押します。

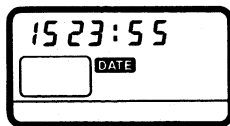


・日の表示部に 15 がセットされ、年、月、日のセットが終了します。

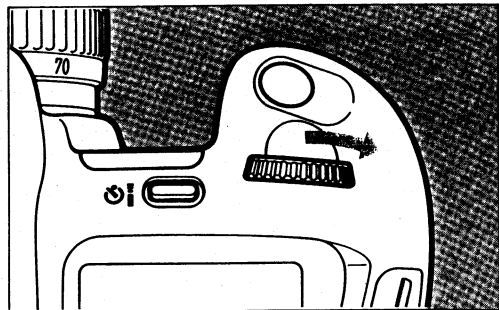
2) 時刻のセット <例として10時30分をセットします>



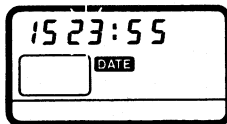
- 1 露出補正ボタンとAFモードの両方を押して日付けモードにした後、電子ダイヤルを回して「日・時・分」表示にします。



- ・表示パネルは年・月・日からOFFを経て日・時・分の表示に変わります。

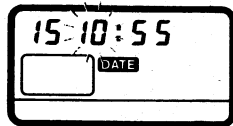


- 2 部分測光ボタンを押して時の表示を点滅させます。

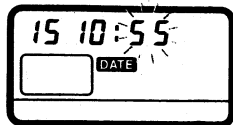


- ・ボタンを押すごとに点滅する数値が時・分と順に移動します。

3 電子ダイヤルを回して10
をセットします。



4 部分測光ボタンを押しま
す。

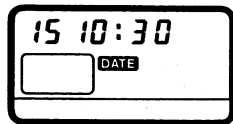


5 電子ダイヤルを回して30
をセットします。



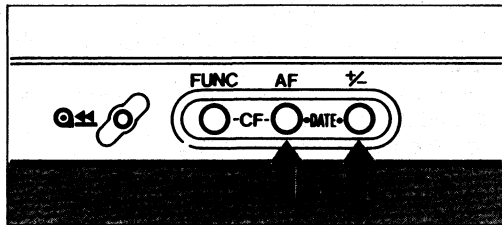
・時の表示部に10がセットされ、
分の表示が点滅します。

6 部分測光ボタンを押しま
す。



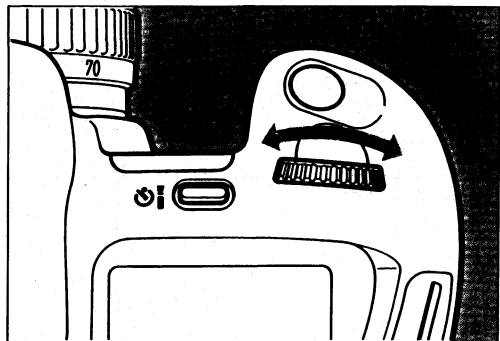
・分の表示部に30がセットされ、
時・分のセットが終了します。

3) 日付/時刻の写し込み

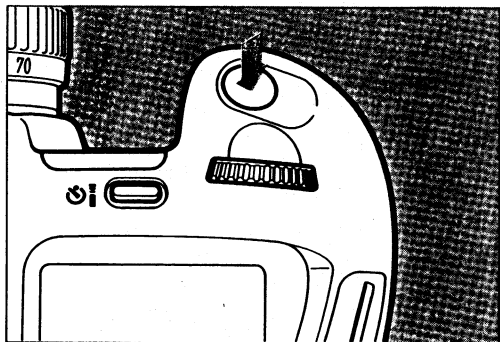


1 露出補正ボタンとAFモード選択ボタンを同時に押します。

・表示パネルに **DATE** と OFF が表示されます。



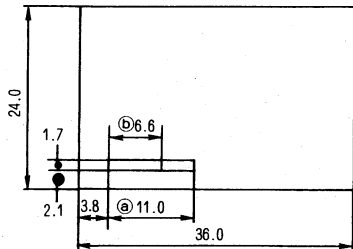
2 電子ダイヤルを回して写し込みたい日付/時刻の種類を選びます。



3 シャッターボタンを半押しして写し込みのセットを終了します。

- ・日付／時刻の写し込みをセットすると表示パネルに **DATE** が表示されます。
- ・OFF を選択すると写し込みが解除され表示パネルから **DATE** が消えます。
- ・電池交換時は日付け、時間を確認してください。
- ・日付と時刻を同時に写し込むときは、カスタム機能 **CF** 15を使用します。(P. 86参照)

日付の入る位置



①カスタム機能 **CF** 15使用

②その他

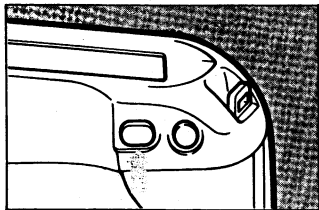
II 上級編

初級編では撮影の準備や練習、そして気軽に撮影できるイメージセレクトゾーンについてご説明しましたが、上級編ではオートフォーカスやフィルムの巻き上げ方式などの変更およびクリエイティブゾーンについてご説明します。

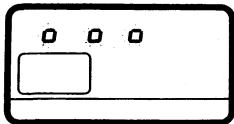
1. AF フレームの切り換え

通常はファインダー内の3つのAFフレームの中から撮影の状況に応じて1つが自動選択されます。

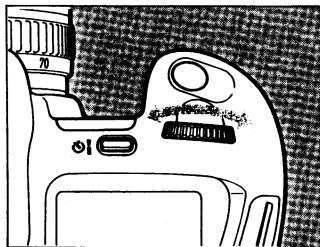
しかし3つのAFフレームから任意のAFフレームを1つ選ぶこともできます。



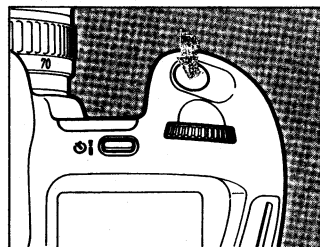
1 AFフレーム選択ボタンを押します。



・表示パネルで3つのAFフレームマークが点滅し、ファインダー内の3つのAFフレームが赤く点灯します。



2 電子ダイヤルを回して、希望するAFフレームを選択します。



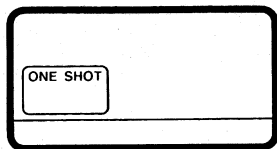
3 シャッターボタンを半押ししてセットを終了します。
・約6秒たつとシャッターボタンを半押ししなくてもセットは終了します。

AFフレーム切り換えは、イメージセレクトゾーンおよび、手振れ限界プログラムAEでは、使用できません。

2. オートフォーカスの切り換え

被写体にピントを合わせる方法には被写体の動きに応じた2種類のオートフォーカス（自動ピント合わせ）と手動ピント合わせがあります。

- ・手動ピント合わせについては78頁を参照してください。

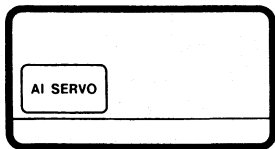


1) ONE SHOT (ワンショット) オートフォーカス

動きのない被写体を撮るときにセットします。ピントが合うまでシャッターが切れないのでピンボケ写真を防ぐことができます。ピントが合ったときに同時に露出も決まります。

フォーカスロック撮影

ピントを合わせた後、シャッターボタンを半押しし続けると、ピントと露出が固定されたままになりますので、ピントを合わせた後に構図を変えて撮影するフォーカスロック撮影ができます。



2) AI SERVO (エーアイサーボ) オートフォーカス

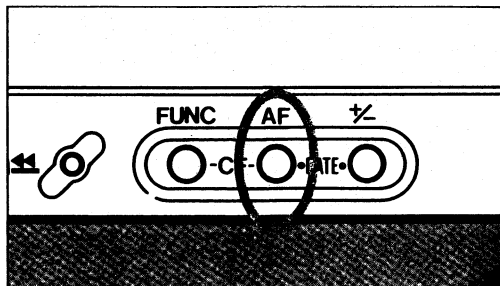
連続的に動く被写体を撮るときにセットします。被写体の動きに合わせてレンズが動きピントを合わせます。

動体予測機能*により、カメラに向かって近づいて来る被写体、あるいは遠ざかる被写体にもピントを合わせることができます。ただし AI SERVO オートフォーカスと AF フレームの自動選択を組み合わせるときは、必ず最初に中央の AF フレームで被写体を捉えてください。

中央の AF フレームで捉えないと、正確な動体予測撮影となりません。

露出はシャッターが切れる直前に決まります。

- ・合焦マークの点灯と電子音による合焦表示はありません。
- ・フォーカスロック撮影はできません。

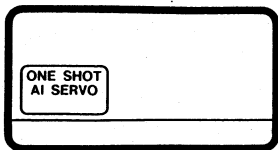


1 AF モード選択ボタンを押します。

- ・表示パネルに AF モードが表示されます。

* 動体予測機能

被写体がカメラに近付いてくる場合または遠ざかって行く場合に、シャッターが切れる直前に正しいピントが得られるよう、その被写体の位置を予測してピントを調整する機能です。

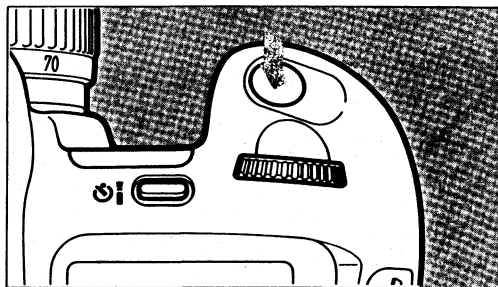


2 電子ダイヤルを回して、ONE SHOT、AI SERVO のいずれかを選択します。

人にやさしいEOS

6秒タイマー機能

- 1) 機能変更に使用する各ボタンには6秒タイマーが備わっています。一度ボタンを押した後、指を離してください。6秒以内ならば電子ダイヤルを回すだけの簡単な操作でセットを変更することができます。
- 2) シャッターボタンを半押ししたあとで指を離しても、表示パネルとファインダーの露出表示（シャッター速度と絞り値）は約6秒間表示されています。



3 シャッターボタンを半押ししてセットを完了します。

- AI SERVO を選択しても被写体の動きが速すぎたり、不規則な場合はシャッターが切れないことがあります。

人にやさしいEOS

電子ダイヤル

電子ダイヤルはファインダーを覗いたまま数値の変更ができ、操作性に大変優れています。電子ダイヤル単独では数値を大きくしたり小さくしたりする働きがあり、他のボタンと組み合わせるとカメラの機能を切り換えることができます。

3. フィルム巻き上げの切り換え

フィルムを巻き上げる方法には2種類あります。

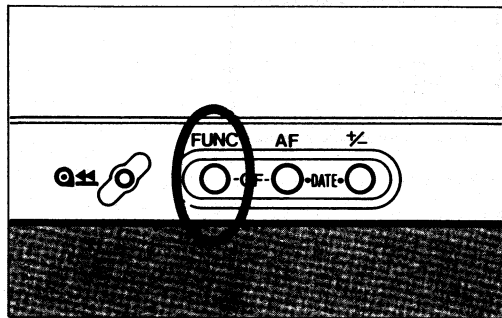
1) 一枚撮り (□)

撮影した後カメラが自動的にフィルムを1枚巻き上げます。一般にはONE SHOT オートフォーカスと組み合わせて使用します。

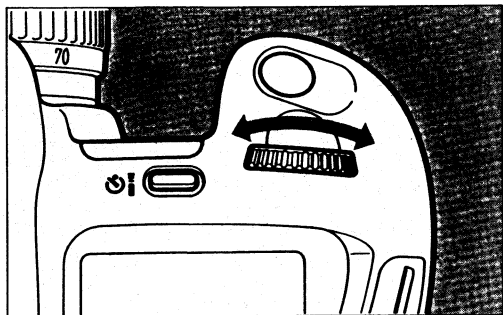
2) 連続撮影 (📷)

シャッターボタンを押し続けている間連続撮影します。AI SERVO オートフォーカスと組み合わせて使用すると便利です。

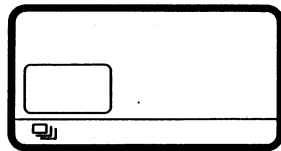
AI SERVO オートフォーカスと組み合わせた場合、秒間最高約3コマ、ONE SHOT オートフォーカスおよび手動ピント合わせと組み合わせた場合、秒間最高約5コマの速さで連続撮影します。



- 1 ファンクション（基本機能）選択ボタンを押して表示パネルに巻き上げモードの表示(□)か(📷)を表示させます。



2 電子ダイヤルを回して、1枚撮り(□)か連続撮影(□)を選択します。



3 シャッターボタンの半押しでセットを完了します。

人にやさしいEOS

ボタンと表示パネルの枠の色

ボタンの色と表示パネルの色で示した枠とは対応しています。

青色のファンクション選択ボタンを操作したときの表示が表示パネルの青色の線の下に、また黄色いAFモード選択ボタンを操作したときの表示が黄色い枠の中に示されます。

4.内蔵ストロボ

1)自動発光

内蔵ストロボはモードセレクターダイヤル上の全自動、ポートレート、クローズアップでの撮影時において被写体が暗いときや逆光のときに自動発光します。

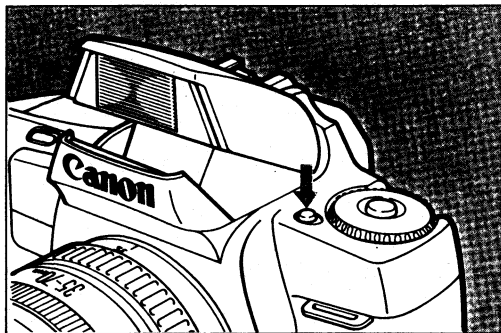
- ・撮影終了と同時に自動的に収納されます。
- ・ストロボが上がってから約6秒間撮影しないできると自動的に収納されます。ストロボを押し下げても収納できます。



2)手動発光

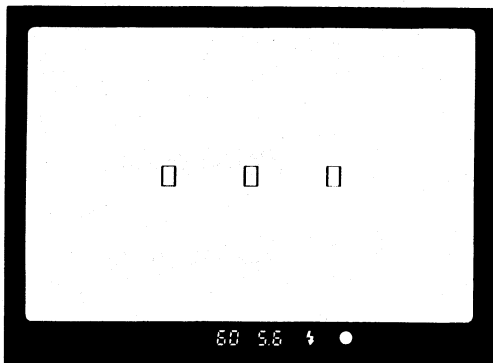
クリエイティブゾーンでは必要に応じていつでも内蔵ストロボを発光させることができます。

被写体に極端な陰影がある場合や、人物の目にキャッチライトが欲しいときなどに使用します。内蔵ストロボを利用すると被写体も背景も自然な感じで撮影できます。ピントを合わせた AF フレームに対応した被写体が適正露出になります。



ストロボ ON/OFF ボタンを押してストロボを上げます。

- ・焦点距離35mm未満のレンズをお使いになると周辺光量が不足することがあります。
- ・レンズフードを付けたまま内蔵ストロボを使用すると、フードでストロボの光がケラれてしまいます。内蔵ストロボを使用するときは必ずレンズからフードを外してください。
- ・内蔵ストロボと外付けストロボを併用することはできません。
- ・アクセサリシューに専用ストロボおよびカバー等を取り付けると内蔵ストロボは作動しません。




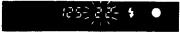

シャッターボタンを半押しするとファインダー内に充電完了マーク（⚡）が表示されます。再度ストロボ ON/OFF ボタンを押すとストロボが収納されます。

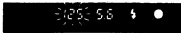

・ストロボを押し下げても収納できます。

- ・次の大口径レンズを使用するときは、ストロボの光がケラれることがありますので、外付け専用ストロボの使用をおすすめします。

EF 50mm F1.0L、EF 200mm F1.8L
 EF 300mm F2.8L、EF 600mm F4L
 EF 20-35mm F2.8L、EF 28-80mm F2.8-4L
 EF 80-200mm F2.8L、EF 50-200mm F3.5-4.5
 EF 50-200mm F3.5-4.5L

ストロボ撮影時における露出表示の確認

撮影モード	警告表示	意味	処置
インテリジェントプログラムAE	日中シンクロ撮影時、使用レンズの最小絞り数値が点滅 	全体が露出オーバーになります	ストロボを使わない撮影をおすすめします
シャッター優先 AE	使用レンズの最小絞り数値の点滅 	全体が露出オーバーになります	ストロボを使わない撮影をおすすめします
	使用レンズの開放絞り数値の点滅 	背景が露出アンダーになります	被写体は適正露出です。そのまま撮影して差し支えありません

撮影モード	警告表示	意味	処置
絞り優先 AE	シャッター速度1/125の点滅 	全体が露出オーバーになります	絞りを閉じてください
	シャッター速度30"の点滅 	背景が露出アンダーになります	絞りを開けてください

同調シャッター速度と絞り数値

カメラの状態	同調シャッター速度	絞り数値
インテリジェントプログラムAE	1/60~1/125秒に自動セット	TTLプログラムによる調光絞り数値を自動セット（内蔵ストロボ）
シャッター優先AE	1/125秒以下の任意のシャッター速度を手動セット*	セットしたシャッター速度に対し明るさに応じて絞り数値を自動セット
絞り優先AE	セットした絞り数値に対し明るさに応じて30"~1/125秒を自動セット	任意の絞り数値を手動セット
マニュアル露出	1/125秒以下の任意のシャッター速度を手動セット*	任意の絞り数値を手動セット

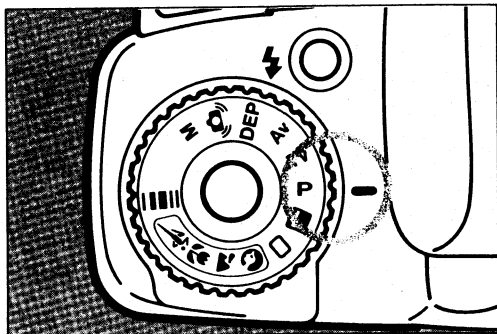
*1/125秒以上にセットした場合は、自動的に1/125秒にセットされます。

内蔵ストロボの連動距離範囲

フィルム感度	開放F値2.8のレンズ		開放F値4.0のレンズ	
	リバーサルフィルム	ネガフィルム	リバーサルフィルム	ネガフィルム
ISO 100	1.0~4.2 m	1.0~ 6.0 m	1.0~3.0 m	1.0~4.2 m
ISO 400	2.0~8.4 m	2.0~12.0 m	1.4~6.0 m	1.4~8.4 m

5. クリエイティブゾーンでの撮影

モードセクターダイヤルのクリエイティブゾーンには、被写体や撮影目的に合わせて自由に選べる6通りの撮影モード（方式）があります。

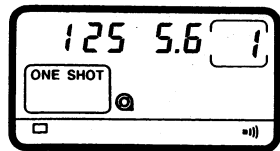


- 1 モードセクターダイヤルをPにセットします。

1) インテリジェントプログラム AE (P)

全自動同様、気軽に撮影するときのセット位置です。全自動と異なるのは AF 方式やフィルム巻き上げ方式をご自分でセットできる点です。被写体の明るさに応じて撮影時のシャッター速度と絞り値の組み合わせを自動セットします。これをインテリジェントプログラム AE と呼びます。

2 シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせます。



- ・表示パネルあるいはファインダー内の露出表示（シャッター速度と絞り値）を確認します。
- ・シャッター速度が1/使用レンズの焦点距離（秒：一般的な手持ち撮影の限界）以下になったときには手振れ警告の電子音を鳴らします。
- ・手振れ警告音が出たときはストロボ撮影（→ 38 頁）に切り換えるか三脚を使用することをお勧めします。



露出表示

・露出表示の確認

露出表示が点滅したときは不適正露出となります。明るいところではNDフィルター（減光用）を、暗いところではストロボを使用してください。

3 シャッターボタンをさらに押して撮影します。

- ・電子音を全て解除することができます（→ 80 頁）。

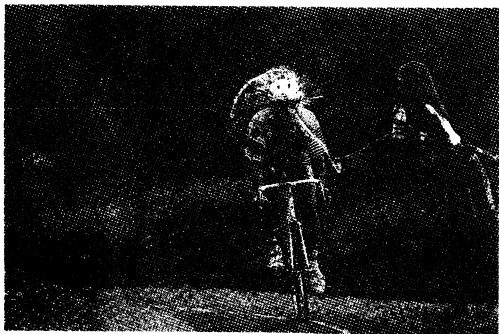
プログラムシフト

インテリジェントプログラム AE によって、自動的にセットされたシャッター速度と絞り値の組み合わせ（プログラム）は、同じ露出のまま自由に変えることができます。これをプログラムシフトと呼びます。

シャッターボタンを半押ししてから、希望するシャッター速度または絞り値が出るまで電子ダイヤルを回します。

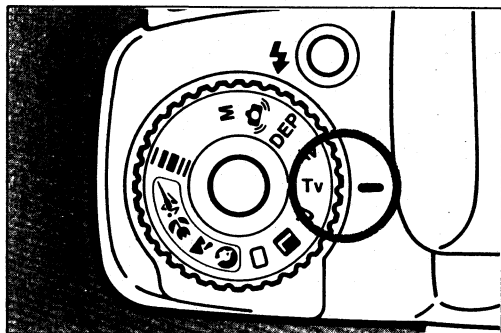
- ・撮影後プログラムシフトは自動的に解除され、元のプログラムに戻ります。
- ・プログラムシフトの特性に関しては、91 頁を参照してください。
- ・内蔵ストロボを使用するとプログラムシフトはできません。

2) シャッター優先 AE(Tv)



動きを表現したいときにセットするモードです。シャッター速度をセットすると、被写体の明るさに応じて適正露出に必要な絞り値が自動的にセットされます。

シャッター速度を速くすれば動いている被写体をシャープに写し止めることができ、逆にシャッター速度を遅くすれば動きをブラして流動感を表現することができます。

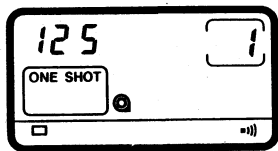
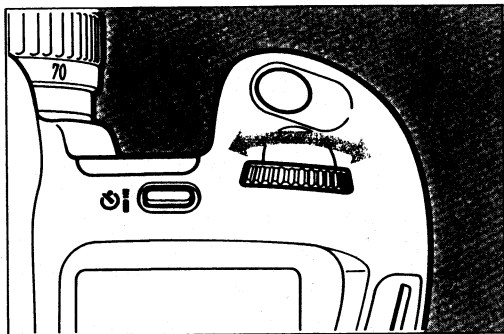


1 モードセレクトダイヤルをTvにセットします。

シャッター速度の表示

4000 3000 2000 1500 1000 750 500 350 250
180 125 90 60 45 30 20 15 10 8 6 4 3 2 0*7
1" 1*5 2" 3" 4" 6" 8" 10" 15" 20" 30"

この表の色の数字は分母を表しており、分子は全て1です。例えば8は1/8を表しています。また、0*7は0.7秒を表し、15"は15秒を表しています。

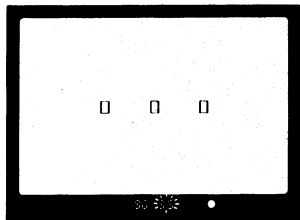


2 電子ダイヤルを回して希望するシャッター速度を表示パネルにセットします。

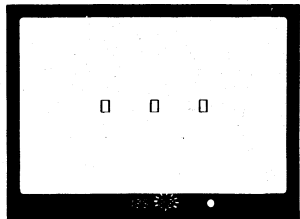
3 シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせます。

・表示パネルあるいはファインダー内の露出表示を確認します。

・露出表示の確認



(1) 使用レンズの開放絞り値が点滅する場合は露出アンダーです。点滅が止まるまで電子ダイヤルでシャッター速度を遅くしてください。



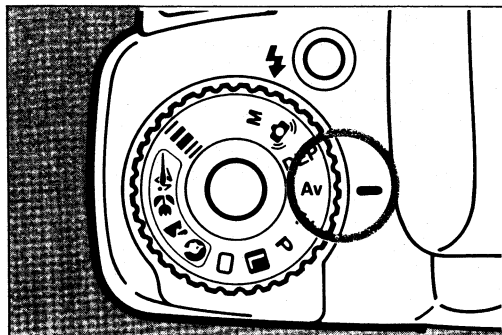
(2) 使用レンズの最小絞り値が点滅する場合は露出オーバーです。点滅が止まるまで電子ダイヤルでシャッター速度を速くしてください。

3) 絞り優先 AE(Av)



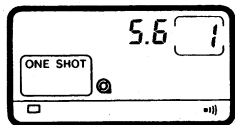
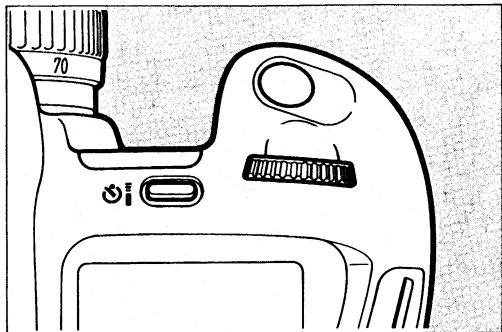
絞り値をセットすると、被写体の明るさに応じて適正露出を得るためのシャッター速度が自動的にセットされます。

絞り値を変更することによって被写界深度を浅くしたり深くしたりすることができます。



1 モードセレクターダイヤルを Av にセットします。

背景をボカした美しいポートレートを撮るときは、できるだけ絞り値を小さくします。小さくすると背景のボケぐあいはより効果的になります。奥行きのある風景などをすみからすみまではっきり写すときは、絞り値を大きくします。

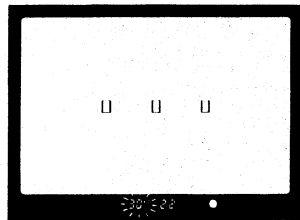


2 電子ダイヤルを回して希望する絞り値をセットします。

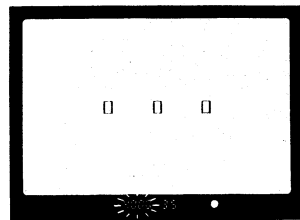
3 シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせます。

- 表示パネルあるいはファインダー内の露出表示を確認します。
- 手振れ警告音が出たときはストロボ撮影(→38頁)に切り換えるか三脚を使用することをお勧めします。

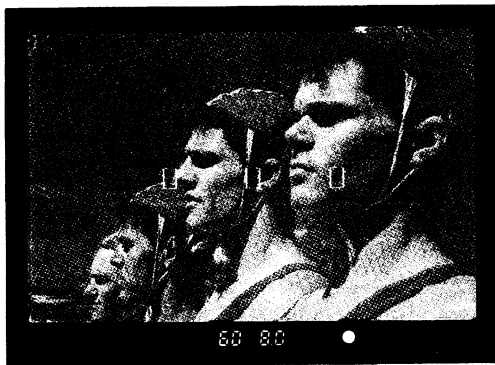
・露出表示の確認



(1)シャッター速度の30"が点滅する場合は露出アンダーです。点滅が止まるまで電子ダイヤルを回して絞りを開いてください。



(2)シャッター速度の4000 が点滅する場合は露出オーバーです。点滅が止まるまで電子ダイヤルを回して絞りを閉じてください。



2 構図を決めてシャッターボタンを半押しします。

- ・ファインダー内の合焦ランプの点灯と露出表示を確認します。
- ・手振れ警告音が出たときは三脚を使用することをお勧めします。

3 シャッターボタンをさらに押して撮影します。

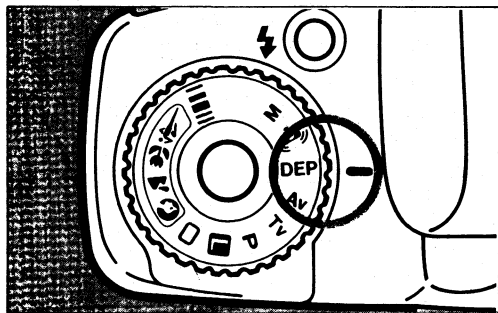
- ・シャッターボタンを半押しする度にオートデブスを行います。



ポートレート撮影のときに、3つのAFフレームが人物にかかるとして撮影すると、人物の背景がボケたポートレート写真になります。

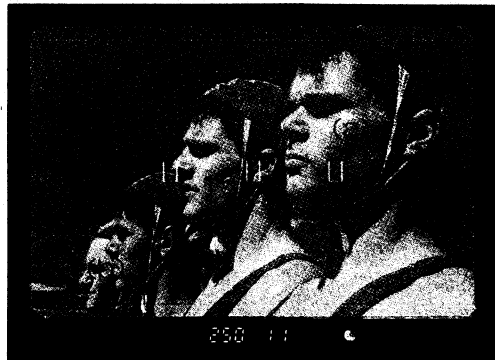
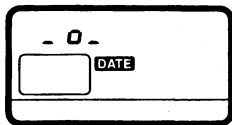
(2) マニュアルデプス撮影

マニュアルデプスはシャープに撮りたい範囲を、自由に指定して撮影できます。被写体に対する背景のボケ具合を調節するときなどに使用します。



1 モードセレクターダイヤルをDEPにセットします。

2 AF フレームを選択します (→ 32 頁)。



3 選択したAF フレームを1点目(a)に合わせ、シャッターボタンを押します。

・ファインダー内の合焦ランプが点灯しファインダー内と表示パネルに dEP 1 と表示されたら、シャッターボタンから指を離します。

4 選択したAF フレームを2点目(b)に合わせ、シャッターボタンを押します。

- ・ファインダー内の合焦ランプが点灯しファインダー内と表示パネルに dEP 2 と表示されたら、シャッターボタンから指を離します。

・後方(b)、前方(a)の順で操作しても同じ結果が得られます。

5 構図を決めシャッターボタンを半押しして露出表示を確認します。

- ・前方(a)から後方(b)までを被写界深度内に入れるために必要な絞り値とそれに対応したシャッター速度が表示パネルとファインダー内に表示されます。
- ・手振れ警告音が出たときは三脚を使用することをお勧めします。
- ・シャッターボタンから指を離すと表示は dEP と絞り値に変わります。

6 シャッターボタンをさらに押して撮影します。

- ・露出表示の確認
絞り値が点滅する場合は、希望どおりの被写界深度が得られませんが露出は適正です。
- ・このような場合は、被写体から離れるかレンズを広角にして、再度3から6の操作をしてください。絞り値の点滅が止まれば希望どおりの被写界深度が得られます。

- ・深度優先 AE を操作途中で解除するときは、モードセレクターダイヤルのセットを DEP 以外にしてください。
- ・ズームレンズを使用しているときは、1点目のピントを合わせた後で焦点距離を変えないでください。
- ・深度優先 AE で使用できる望遠レンズは焦点距離が 200 mm までのレンズが限度とお考えください。
- ・被写界深度を深くしたいときは、広角レンズをお使いになることをおすすめします。
- ・深度優先 AE では、AF モードが ONE SHOT でもシャッターを切る瞬間に露出が決まります (→ 33 頁)。

1点目と2点目で同じ距離のものにピントを合わせると被写界深度は浅くなります。人物の撮影でこれを応用すれば、人物の前景および背景をボカしたポートレート撮影ができます。ポートレートの撮影には望遠レンズをお使いになることをおすすめします。

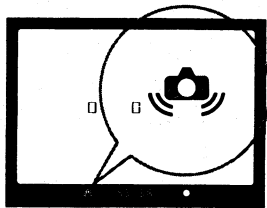
- ・深度優先 AE ではストロボ併用撮影はできません。併用した場合はインテリジェントプログラム AE でのストロボ使用と同じになります。

3 シャッターボタン半押しからさらに押して撮影します。

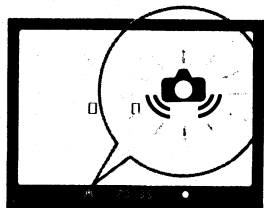
- ・ファインダー内にカメラマーク (📷) が点灯し、手振れを起こさないシャッター速度およびそれに対応した絞り値が表示されます。
- ・手振れを起こさないシャッター速度がセットされても、シャッターボタンを押す瞬間にカメラが動くと手振れ写真となりますので、シャッターボタンを押すときは慎重に押しください。

点滅警告について

シャッター速度が1/使用レンズの焦点距離(秒)以下になったときは、ファインダー内の手振れ警告マーク(📷)が点滅して電子音が鳴り、手振れが起こる可能性があることを警告します。なお、手振れ警告には2種類あります。



1)カメラマーク (📷) が点灯し、スイングマーク (📷) が点滅する場合は、手振れしないシャッター速度より2段以内の遅いシャッター速度がセットされたことを意味します。

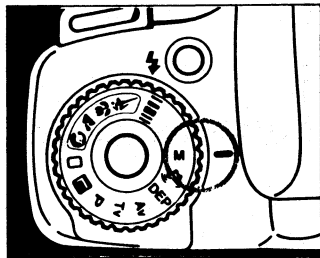


2)カメラマーク (📷) もスイングマーク (📷) も点滅する場合は、手振れしないシャッター速度より2段以上遅いシャッター速度がセットされたことを意味します。

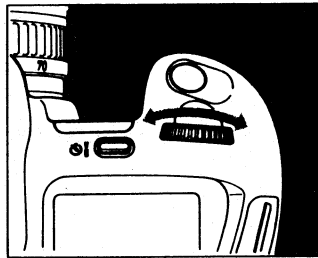
- ・手振れ警告が表示された場合には、ストロボを併用するカ三脚を使用して撮影してください。

6) マニュアル露出

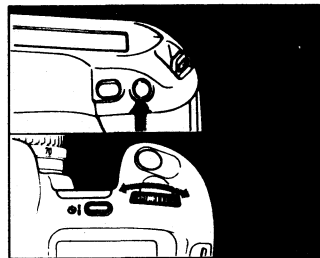
マニュアル露出モードでは、シャッター速度と絞り値を自由に決めることができます。露出を意図的に変えて撮影するときに使います。



1 モードセクターダイヤルをMにセットします。



2 電子ダイヤルを回し、希望するシャッター速度をセットします。



3 部分測光ボタンを押しながら電子ダイヤルを回し、希望する絞り値をセットします。

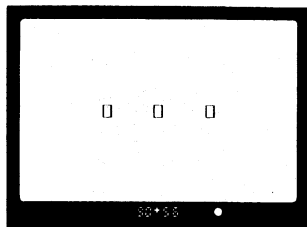
4 構図を決めシャッターボタンを半押しして露出表示を確認します。

・マニュアル露出時の測光は、中央部部分測光となります。

・絞り値をセットするとき部分測光ボタンを押してもファインダー内の*マークは点灯しません。

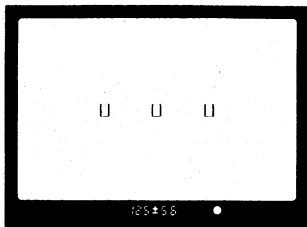
・ファインダー内の絞り値の前に+、±、-、のいずれかが表示されます。

マークに従って露出を調整します。

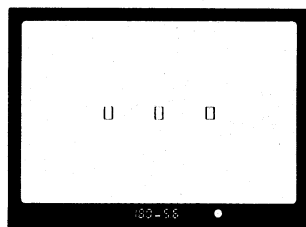


+：露出オーバーです。土が表示されるまで絞りを閉じてください。

- ・最小絞り値まで閉じてても、+が表示されているときは、シャッター速度を速くしてください。



±：適正露出です。意図的に露出をアンダーやオーバーにするときは、この位置を基準にして補正量を決めてください。



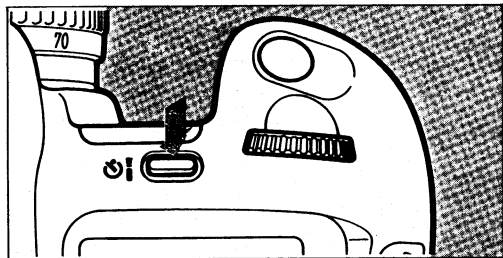
-：露出アンダーです。土が表示されるまで絞りを開けてください。

- ・絞りを開放まで開いても、-が表示されているときは、シャッター速度を遅くしてください。
- ・初めに絞り値を決めてからシャッター速度で露出調整することもできます。

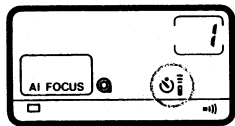
7)セルフタイマー


セルフタイマーを使用するときは、三脚などでカメラをしっかり固定してください。

- ・セルフタイマー撮影では、シャッターボタンを押してから約 10 秒後にシャッターが切れます。

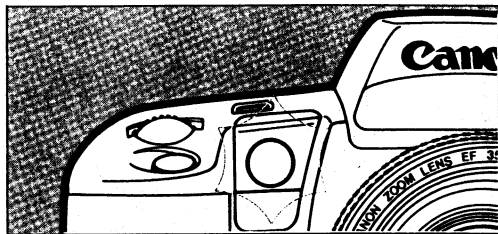


1 セルフタイマーボタンを押します。



- ・表示パネルに  が表示されます。

2 構図を決めてシャッターボタンを半押ししピントを合わせます。

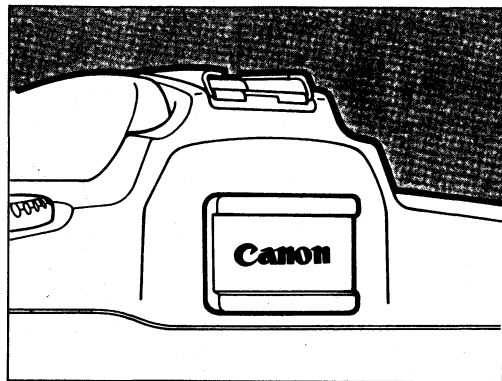
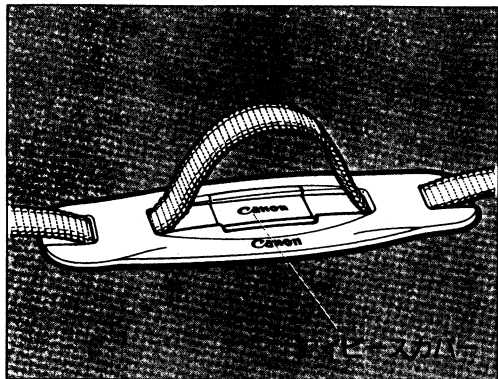


3 シャッターボタンをさらに押します。

- ・セルフタイマー表示ランプが点滅を始め、約 10 秒後にシャッターが切れます。シャッターが切れる 2 秒前になるとセルフタイマー表示ランプの点滅が速くなります。
- ・表示ランプと一緒に電子音も鳴ります。電子音を解除することもできます (→ 80 頁)。
- ・カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。

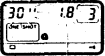
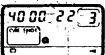
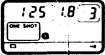
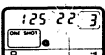

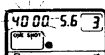
4 セルフタイマー撮影後、セルフタイマーボタンを押してセルフタイマーを解除します。

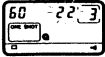
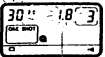
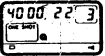


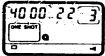
- ・シャッターが切れる前に、セルフタイマーボタンを押すと、その時点でセルフタイマーは解除されシャッターは切れません。
- ・何も操作せずに 4 分間たつとセルフタイマーモードは解除されます。



ファインダーから目を離してシャッターボタンを押すと、ファインダーから入った光によって露出が狂うことがあります。
アイカップを取り外して、ストラップの肩当てについているアイピースカバーを図のように接眼部に取り付けてからシャッターボタンを押してください。

6. 露出警告一覧表

使用モード	表示警告例(点滅)	意味	処置
インテリジェント プログラム AE	 使用レンズの開放絞り数字	被写体が暗すぎます	ストロボを使用してください
	 使用レンズの最小絞り数字	被写体が明るすぎます	減光用のNDフィルターを使用してください
シャッター優先 AE	 使用レンズの開放絞り数字	露出アンダーになります	電子ダイヤルでシャッター速度を遅くしてください
	 使用レンズの最小絞り数字	露出オーバーになります	電子ダイヤルでシャッター速度を速くしてください
絞り優先 AE	 使用レンズの開放絞り数字	露出アンダーになります	電子ダイヤルで絞り値を小さくしてください
	 使用レンズの最小絞り数字	露出オーバーになります	電子ダイヤルで絞り値を大きくしてください

使用モード	表示警告例(点滅)	意味	処置
深度優先 AE		希望する被写界深度が得られません。	1) 被写体からできるだけ離れて再度操作してください。 2) ズームレンズを使用している場合は、広角側にセットして再度操作してください。
	 使用レンズの開放絞り数字	露出アンダーになります。	深度優先AEの効果がある撮影はできません。
	 使用レンズの最小絞り数字	被写体が明るすぎます。	減光用のNDフィルターを使用してください。
手振れ防止優先 AE		手振れしないシャッター速度より2段以内の遅いシャッター速度がセットされています。	三脚を使用するカスタロボを併用してください。
		手振れしないシャッター速度より2段以上遅いシャッター速度がセットされています。	三脚を使用するカスタロボを併用してください。
		被写体が明るすぎます。	減光用のNDフィルターを使用してください。

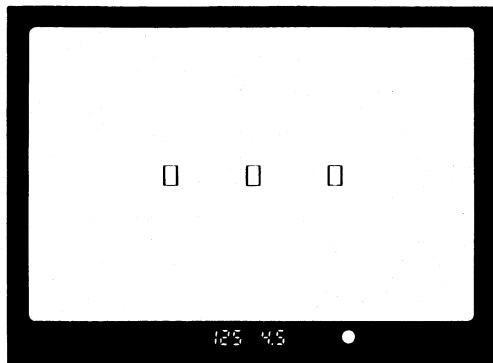
III 応用編

撮影目的や撮影状況に合わせ豊富な機能をさらに細かく調整して、創造的な写真を撮ることが出来ます。

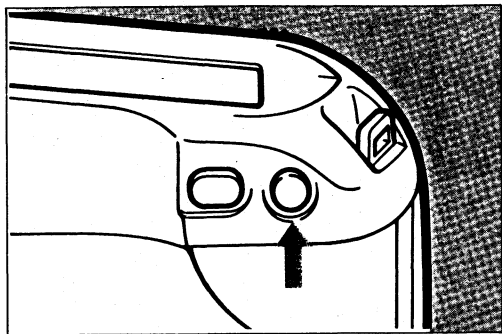
- ・ 応用編で説明している各機能はモードセレクトダイヤルのイメージセレクトゾーンでは使用できません。

1. 部分測光

EOS は被写体と背景との明るさの差や、被写体の大きさを考慮して適正露出を決定する評価測光方式を採用しています。被写体が逆光のときや晴れた日の雪原などでもきれいな写真が撮れます。しかし、スポットライトで照明されたステージなど、被写体と背景とのコントラスト（明暗差）が極端に強い場合、構図によっては被写体が適正露出にならないことがあります。そのようなときには部分測光ボタンをご利用ください。部分測光ボタンを利用すれば構図を変えても露出は変わりません。



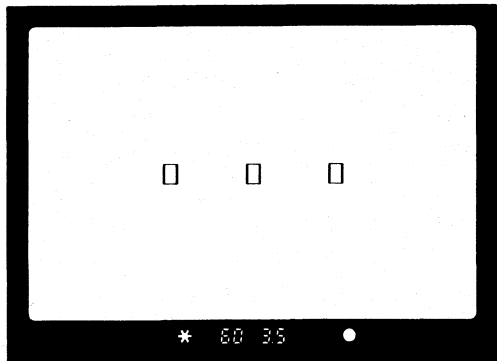
1 構図を決めてピントを合わせます。



2 シャッターボタン半押しのまま、中央の AF フレームを適正露出にしたい被写体に合わせ、部分測光ボタンを押します。

AF フレームがどこに選択されていても部分測光は中央の AF フレーム位置で行います。

- ・ファインダー内に ***** が表示され、部分測光状態になったことを示します。 ***** が表示されたら、部分測光ボタンから指を離してもかまいません。露出はロックされています。



3 シャッターボタン半押しのまま構図を戻して撮影します。

- ・露出はシャッターボタン半押しの間は変わりません。なおフィルム巻き上げを連続撮影 (C) にセットしておけば、同じ露出で連続撮影をすることもできます (→ 36 頁)。



・部分測光機能を応用して被写体を黒くつぶしたシルエット撮影を行うことができます。例えば、夕焼けの中の人物をシルエットにするときは、

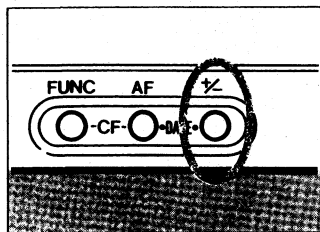
- 1)人物に AF フレームを合わせピントを合わせます。
- 2)そのまま構図を変えて中央の AF フレームを夕焼け空に合わせ、部分測光ボタンを押すと露出が空に合います。

・部分測光は中央の AF フレームで行います。

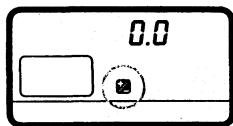
- 3)その後、構図をもとに戻して撮影すれば人物が黒くつぶれると同時に夕焼け空に露出の合った写真となります。


2. 露出補正ボタンによる露出補正

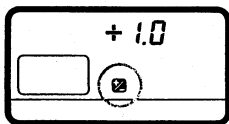
AE 撮影時の露出を撮影意図に合わせて微妙に補正することができます。補正量は 1/2 段ステップで、+5.0 段から -5.0 段の範囲です。



1 露出補正ボタンを押します。

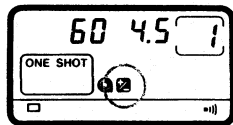


・表示パネルに  と “0.0” が表示されます。




2 電子ダイヤルを回し、希望する補正量をセットします。

- ・+はオーバー側への補正、-はアンダー側への補正です。
- ・露出補正は撮影モード、測光モードに関係なく使用できます。



3 シャッターボタンを半押ししてセットを完了します。

- ・露出が補正されると表示パネルに  が表示されます。なお、補正量を確認したいときは露出補正ボタンを押してください。

4 撮影終了後、1 から 3 の手順に従って補正量を “0.0” にし露出補正を解除します。

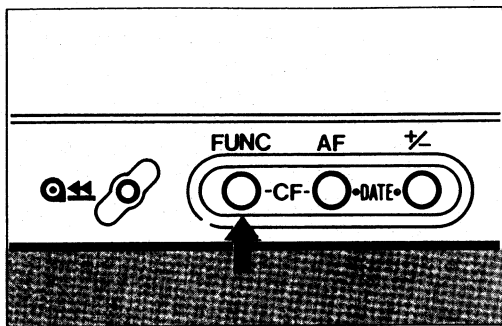
3. オートブラケティングによる露出補正(AEB)

オートブラケティング (AEB:Auto Exposure Bracketing/自動露出ずらし)は、フィルム巻き上げ状態に関係なく、1度シャッターを切るだけでカメラが自動的に露出をずらして3枚の写真を連続撮影します。

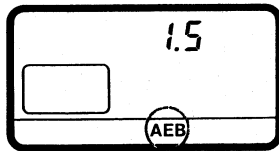
適正露出値から1/2段ステップで、+5.0段から-5.0段の範囲で露出をずらすことができます。

AEB撮影は露出のわずかな変化でも写真の雰囲気が大きく変わるリバーサル(スライド)フィルムをご使用のときは特に有効です。



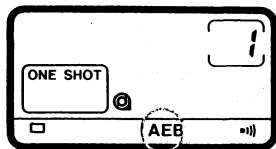


1 ファンクション選択ボタンを押して表示パネルに AEB マークを表示します。



2 電子ダイヤルを回して、希望する露出ずらし量をセットします。

- 例えば 1.5 をセットすると、EOS は露出アンダー (-1.5 段) / 適正 (±0 段) / 露出オーバー (+1.5 段) の順で露出を変え、自動的に 3 枚の写真を連続撮影します。



3 シャッターボタンを半押ししてセットを完了します。

- ・オートブラケティングがセットされると表示パネルに AEB が表示されます。

4 撮影終了後、1 から 3 の手順に従ってパネルの表示を "0.0" にして、オートブラケティングを解除します。

- ・ 3 枚の自動連続撮影はセットされているフィルムの巻き上げ状態に関係なく行われません。
- ・ ピントは AF モードに関係なく最初の撮影位置でロックされます。
- ・ バルブ撮影と(→ 73 頁)とストロボ撮影(→ 38 頁)時は AEB 撮影はできません。

AEB における露出補正は次のように行われます。

- 1) インテリジェントプログラム AE
シャッター速度・絞り値ともに変わります。
- 2) 絞り優先 AE、深度優先 AE、マニュアル露出
シャッター速度のみが変わります。
- 3) シャッター優先 AE
絞り値のみが変わります。

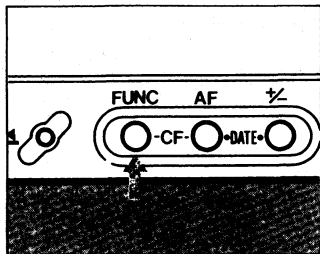
撮影ヒント

露出オーバー側にもみ露出をずらす AEB 撮影の場合には、露出補正ボタン(→ 67 頁)を併用します。

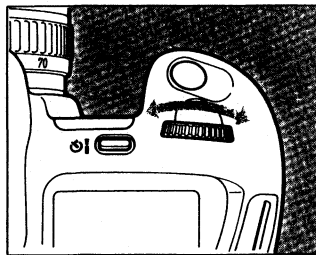
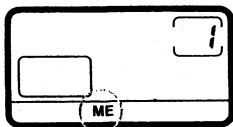
- 1 オートブラケティングで露出のずらし量を 1.0 にセットします。
- 2 露出補正ボタンで補正量を +1.5 にセットします。
結果として露出のずらし量は +0.5 / +1.5 / +2.5 となり、オーバー側にもみ露出をずらしたことになります。

4. 多重露出(ME)

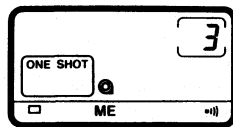
多重露出を使用すれば、同一フィルム面上に画像を重ねて撮影できます。多重露出回数は1度の電子ダイヤル操作で9回までセットできます。



- 1** ファンクション選択ボタンを押して表示パネルにMEを表示します。



- 2** 電子ダイヤルで多重露出回数(3回の多重露出なら3)をフィルム枚数計にセットします。



- 3** シャッターボタンを半押ししてセットを完了します。
- ・撮影の途中で多重露出を解除するときは1、2の手順でフィルム枚数計を空白にします。

4 撮影します。

- ・多重露出撮影中は表示パネルのMEが点滅します。
- ・セットした多重露出回数の撮影が終了すると、フィルムは自動的に次のコマに巻き上げられ、多重露出のセットは解除されます。

撮影ヒント

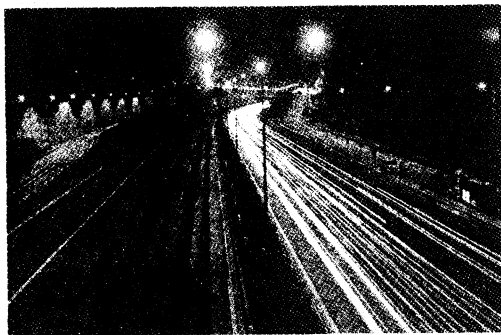
同一画面上に何度も露出を与える多重露出撮影では、露出値を最初に補正しておく必要があります。露出補正を併用してください(→67頁)。

多重露出の回数	補正量の目安
2回	-1.0
3回	-1.5
4回	-2.0

- ・この補正量はあくまでも一般的な目安です。補正量は撮影状況によって変わりますので、あらかじめ撮影アータを求めておいてください。

- ・一般に多重露出は背景が黒っぽいものから撮影を始め、背景の黒い部分に次の被写体を重ねて撮影するとうまくいきます。
- ・多重露出をしたネガフィルムを現像(同時プリント)に出す場合は、そのコマがプリントされないことがありますので、多重露出撮影した旨をあらかじめ写真店にお伝えください。

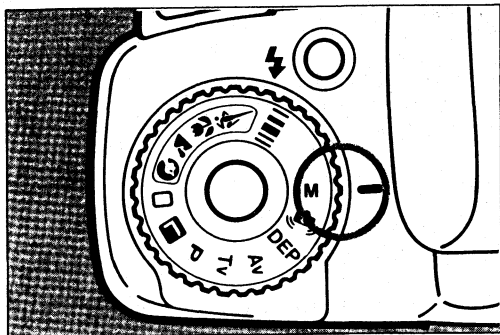
5.バルブ（長時間露出）撮影



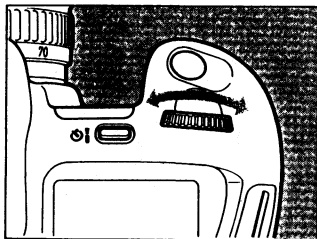
シャッターボタンを押している間シャッターが開いたままになります。夜景や天体撮影など長時間の露出が必要なときにご使用ください。

バルブ撮影ではカメラが動かないよう三脚を使用してカメラをしっかり固定してください。

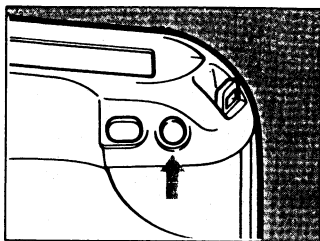
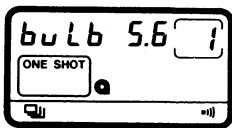
- ・リモートコントローラー RC-1（別売）を併用してください。
- ・バルブ撮影は、ほとんど電池消耗のない省電設計です。



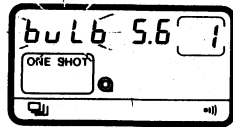
- 1 モードセレクトダイヤルをMにセットします。



2 電子ダイヤルを回してシャッター速度を変え、buLb (バルブ) にセットします。30"の次が buLb です。



3 部分測光ボタンを押しながら電子ダイヤルを回し、希望する絞り値をセットします。



4 撮影します。

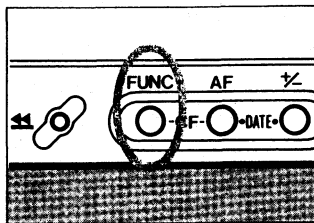
- ・ファインダー内の buLb 表示は消え、表示パネルの buLb が点滅します。
- ・撮影にリモートコントローラー RC-1 を併用する場合は、リモートコントローラー RC-1 の使用説明書を参照してください。

6. インターバルタイマー撮影

インターバルタイマー撮影は花が開花していくようすを一定間隔で連続的に撮影するようなときに利用します。

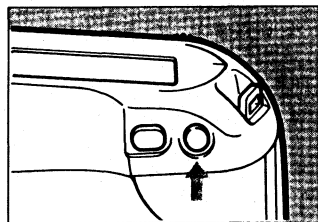
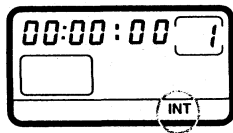
撮影間隔は1秒から23時間59分59秒の間で、また撮影回数は2~36枚の間で自由にセットできます。

<例として1時間15分30秒間隔で20枚撮影する場合をセットします>



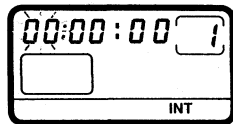
1 ファンクション選択ボタンを押して表示パネルにINTマークを表示します。

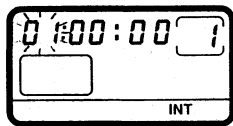
・“00:00:00”は撮影間隔セット位置で時間：分：秒を、フィルム枚数計は撮影回数を示します。



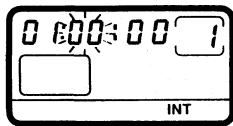
2 部分測光ボタンを押して時間表示位置を点滅させます。

・ボタンを押すごとに点滅する位置が時間、分、秒、回数と順に移動します。

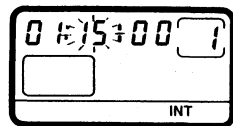




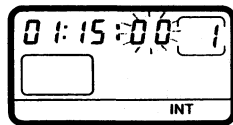
3 電子ダイヤルを回して時間表示位置に01をセットします。



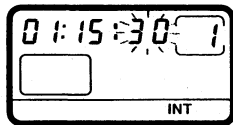
4 部分測光ボタンを押します。
・時間の表示部に01がセットされ、分の表示が点滅します。



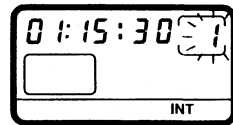
5 電子ダイヤルを回して15(分)をセットします。



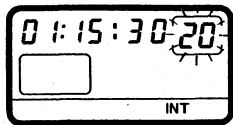
6 部分測光ボタンを押します。
・分の表示部に15がセットされ、秒の表示が点滅します。



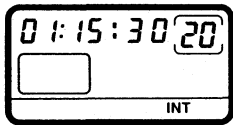
7 電子ダイヤルを回して30(秒)をセットします。



8 部分測光ボタンを押します。
・秒の表示部に30がセットされ、回数の表示部が点滅します。

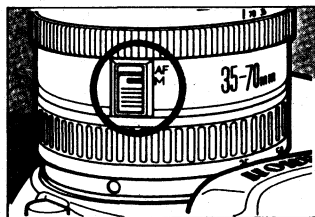


9 電子ダイヤルを回して20をセットします。



10 部分測光ボタンを押して点滅を止めればセット終了です。

- ・枚数の表示部に20がセットされます。



11 レンズのフォーカスモードスイッチをMにして、手動で被写体にピントを合わせます(→78頁)。

12 シャッターボタンを押して1回目を撮影します。2回目からは自動的に撮影していきます。撮影のたびに枚数表示は減算してゆきます。

- ・インターバルタイマー撮影中は表示パネルのINTが点滅します。
- ・インターバルタイマー撮影を解除するときはモードセクターダイヤルをLにします。

- ・ストロボを併用する場合は、ストロボの充電時間を考慮して、撮影間隔を10秒以上にセットしてください。

・セットしたフィルム枚数を撮影するとインターバルタイマー撮影は解除されません。

7.オートフォーカスができないとき(手動ピント合わせ)

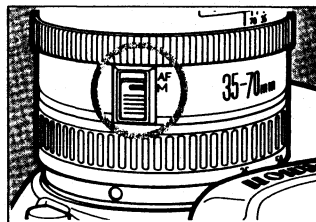
次のようなものにはピントが合わないことがあります。ピントが合わないときはファインダー内の合焦ランプが点滅します。そのような場合は手動でピントを合わせます。

- 1) 距離が遠くてコントラスト(明暗差)が極端に低いもの
例：青空や山など
- 2) 極端な逆光状態にあり、かつ光の反射が強いもの

例：反射光の強い車のボディ
ーなど

- 3) 遠くと近くに共存するもの
例：おりの中の動物など

以上の場合は、被写体とほぼ同じ距離にあるものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影するか、次の手順で手動でピントを合わせてください。



- 1 レンズのフォーカスモードスイッチをM (MANUAL：手動) にセットします。

・表示パネルのAFモード表示が消えます。

- 2 レンズの手動のフォーカスリングを回して、ピントを合わせます。ボケがなくなり、被写体がはっきり見えればピントが合った状態です。

AI SERVO MEOS

AF 補助光

AF フレームで捉えた被写体が暗すぎたり、コントラストがない場合は、自動的に AF 補助光が光ってピントを合わせやすくします。この AF 補助光は AF フレームに対応して発光し、その有効距離は中央部で1~7m、周辺部で1~4mです。

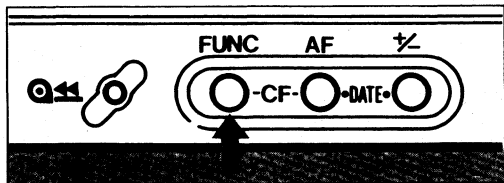
専用ストロボを取り付けた場合も、カメラの AF 補助光が発光し、ストロボの補助光は発光しません。なお、AI SERVOオートフォーカス・手振れ限界プログラムAE時は、AF補助光が発光しません。

8. フィルム感度の手動セット

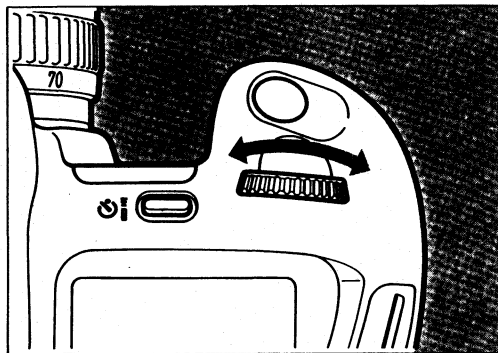
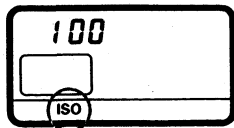
DX マークのないフィルムをカメラにセットするときや、テストの結果から求められたフィルムの実効感度をセットするときは、手でフィルムの感度をセットできます。

次の手順に従ってフィルム感度をセットしてください。セットできる ISO の範囲は 6~6400 です。なおフィルムを取り出すと再び自動感度セットとなります。

- ・DX マークのないフィルムをセットすると表示パネルの ISO が点滅します。



1 ファンクション選択ボタンを押して表示パネルに ISO を表示します。



2 電子ダイヤルを回してフィルム感度値をセットします。

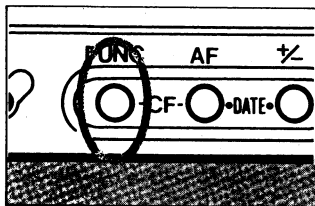
3 シャッターボタンを半押ししてセットを完了します。


- ・DX フィルムの自動感度セット機能を解除することができます。フィルム交換の際に手動セットする必要はありません。(→ 82 頁)。

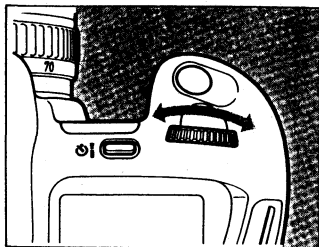
9. 電子音の解除

クリエイティブゾーンでの合焦音および手振れ警告音の選択ができます。

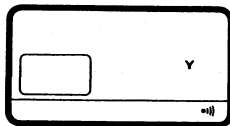
撮影状況に合わせてセットしてください。



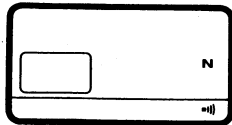
1 ファンクション選択ボタンを押して表示パネルに  マークを表示します。



2 電子ダイヤルを回して Y かん N を選択します。



・Y (YES) を選択すると電子音が鳴ります。

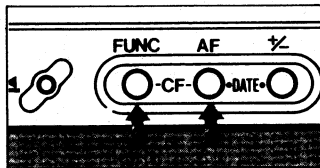


・N (NO) を選択すると電子音が消えます。

3 シャッターボタンを半押ししてセットあるいは解除を完了します。

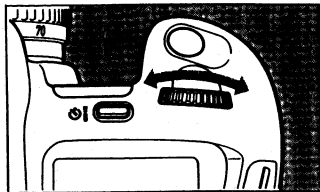
10. カスタム機能

15種類のカスタム機能の中からご自身の使用目的に合った機能をセットして、より使い易いEOSにつくり変えてください。

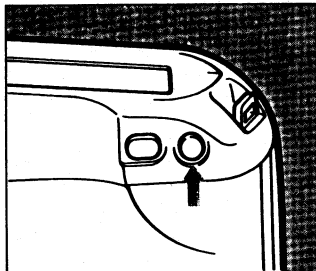


1 AFモード選択ボタンとファンクション選択ボタンを同時に押します。

- ・表示パネルに **CF** が表示されます。

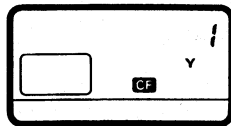


2 電子ダイヤルでカスタム機能の番号をセットします。

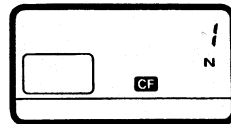


3 部分測光ボタンを押してカスタム機能をセットします。

- ・部分測光ボタンを押すごとに表示パネルには Y と N が交互に表示されます。



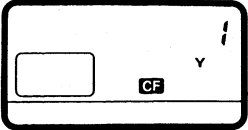
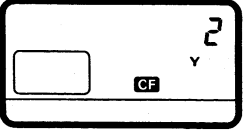
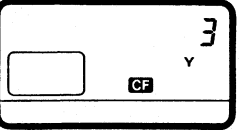
- ・Y (YES) を表示するとカスタム機能がセットされます。

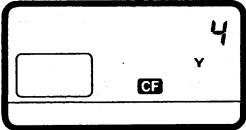
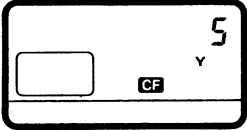
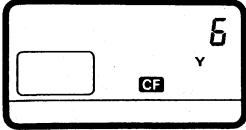


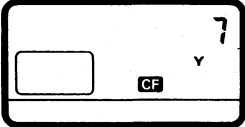
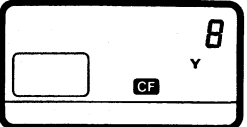
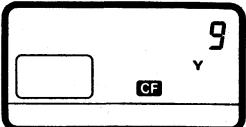
- ・N (NO) を表示するとカスタム機能が解除されます。

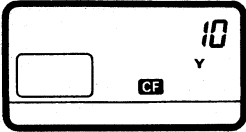
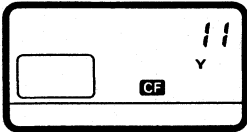
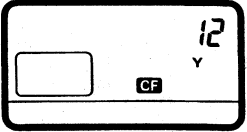
4 シャッターボタンを半押ししてセットを終了します。

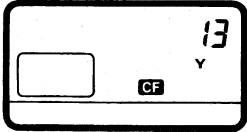
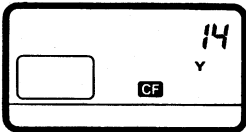
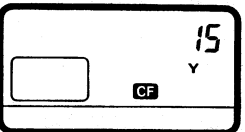
カスタム機能の内容

CF 1	CF 2	CF 3
		
<p>撮影終了後のフィルムの自動巻き戻しを解除する。</p>	<p>フィルム巻き戻しの際、フィルムの先端をバトロローネ内に巻き込まずに残す。</p>	<p>DXコード付きフィルムの自動感度セット機能を解除する。</p>
<p>フィルムが終了しても自動巻き戻しを開始しません。フィルムの巻き戻しは途中巻き戻しボタンを押して行います。 劇場やコンサート会場、あるいは野性動物など、巻き戻し音を出したくないときにご利用ください。</p>	<p>ご自分で現像されるときなどにご利用ください。</p>	<p>増・減感現像用のフィルム感度補正や、テスト撮影などから得たフィルムの実効感度をセットするときに使用します。 ・DXコードによる規定枚数の検知は解除されません。</p>

CF 4	CF 5	CF 6
		
<p>部分測光ボタンをAF作動ボタンに変更する。</p>	<p>マニュアル露出の際に、絞り値の変更を電子ダイヤルで行う。</p>	<p>手振れ警告の電子音を解除する。</p>
<p>ピント合わせと露出決定を別々に行うことができます。</p> <p>部分測光ボタンでピントを合わせ、シャッターボタン半押しで露出を決定します。ピントを合わせた後で構図を変えて撮影するような場合にご利用ください。</p> <p>部分測光ボタンを押したままシャッターボタンを押せば部分測光撮影となり、離せば評価測光撮影となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CF 7 をセットしなくてもUSMレンズ使用時は手動でピント合わせができます。 	<p>シャッター速度をストロボ同調速度に固定し、絞り値を頻繁に変えるストロボを併用したスタジオ撮影に威力を発揮します。シャッター速度の変更は部分測光ボタンと電子ダイヤルで行います。</p>	<p>手振れ警告の電子音が鳴らさず合焦音のみが鳴ります。CF 1 と同じように音が出せない場所での撮影に便利です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンクション選択ボタンで電子音を解除してあると合焦時にも鳴りません。

CF 7	CF 8	CF 9
		
<p>USM(超音波モーター)レンズの手動ピント合わせを行う。</p>	<p>オートフォーカス時に AF 補助光を投光しない。</p>	<p>ストロボ撮影時のシャッター速度を 1/125 秒に固定する。</p>
<p>USMレンズ使用の際、ONE SHOT オートフォーカスでピントを合わせた後、フォーカスモードスイッチを切り換えることなく手動でピント合わせができます。</p>	<p>結婚式やモデルの撮影会などのように同一の被写体を多数のカメラが撮影するような場合に、AF 補助光が他のカメラに写り込むのを防ぎます。</p>	<p>絞り優先 AE でストロボを使用する場合、室内では低速のシャッター速度がセットされ手振れが起き易くなります。これを防ぐため撮影状況に関係なくシャッター速度を 1/125 に固定します。</p>

CF 10	CF 11	CF 12
		
<p>合焦時の AF フレーム発光を解除する。</p>	<p>部分測光ボタンに被写界深度確認機能を追加する。</p>	<p>部分測光ボタンを評価測光ボタンに変更する</p>
<p>クリエイティブゾーンでの合焦時に、ファインダー内の AF フレームを発光（スーパーインポーズ）させません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AF フレームを選択するときは発光します（→ 32 頁）。 	<p>オートフォーカスでピントと露出を決定した後、部分測光ボタンで被写界深度を確認することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AI SERVO オートフォーカス時、CF4 とは併用できません。 ・ 部分測光の機能はそのままです。 	<p>部分測光ボタンを部分測光から評価測光に変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部分測光はできなくなります。

CF 13	CF 14	CF 15
		
<p>セルフタイマー撮影時、ミラーアップさせる。</p>	<p>手振れ限界プログラムAEのシャッター速度制限を解除します。</p>	<p>クォーツアードで日付と時刻の両方を写し込む。</p>
<p>セルフタイマー撮影時に、シャッターボタンの2段目を押したとき、先にミラーがアップし、10秒後に撮影が行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモートコントローラーRC-1使用時にも機能します。 	<p>手振れ限界プログラムAEのシャッター速度を決定する際の、1/使用レンズの焦点距離(秒)の制限を解除します。</p>	<p>クォーツアードで日付/時刻を写し込む場合、選択した組み合わせで日付と時刻の両方をフィルムに写し込みます。</p> <p>日付/時刻の組み合わせパターンは次の通りです。</p> <p>年：月：日：時：分/日：月：年：時：分/月：日：年：時：分/日：時：分/OFF</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表示パネルの表示は同時に表示しませんが、日付と時刻を両方写し込みます。

IV 資料編

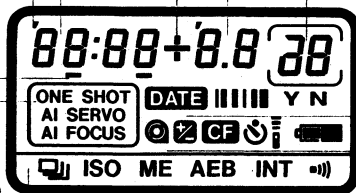
1. パネル表示の一覧

このカメラは撮影のための情報を、大型の表示パネルに表示します。下の図は情報をすべて表示したのですが、通常は必要な情報だけが表示されます。

・モードセクターダイヤルをLにセットしても、カメラは表示のために微弱な電流を必要とします。

- (1)露出補正
- (2)シャッター速度
- (3)ISO フィルム感度
- (4)深度優先 AE 表示
- (5)日付
- (6)インターバルタイマー数値
- (7)年

- (8)月
- (9)AF モード
- (10)ワンショット AF
- (11)AI SERVO AF
- (12)AI FOCUS (ONE SHOT AF、AI SERVO AF 自動切り換え)
- (13)手動ピント合わせ (全フォーカスモード消灯)



- (14)ファンクション表示
- (15)一枚撮り
- (16)連続撮影
- (17)ISO フィルム感度
- (18)多重露出
- (19)オートブラケティング
- (20)インターバルタイマー
- (21)電子音セット

- (22)絞り値
- (23)露出補正值
- (24)オートブラケティングステップ値
- (25)dEP 回数
- (26)時刻
- (27)インターバルタイマー数値
- (28)電池チェック
- (29)バーコードプログラム No.

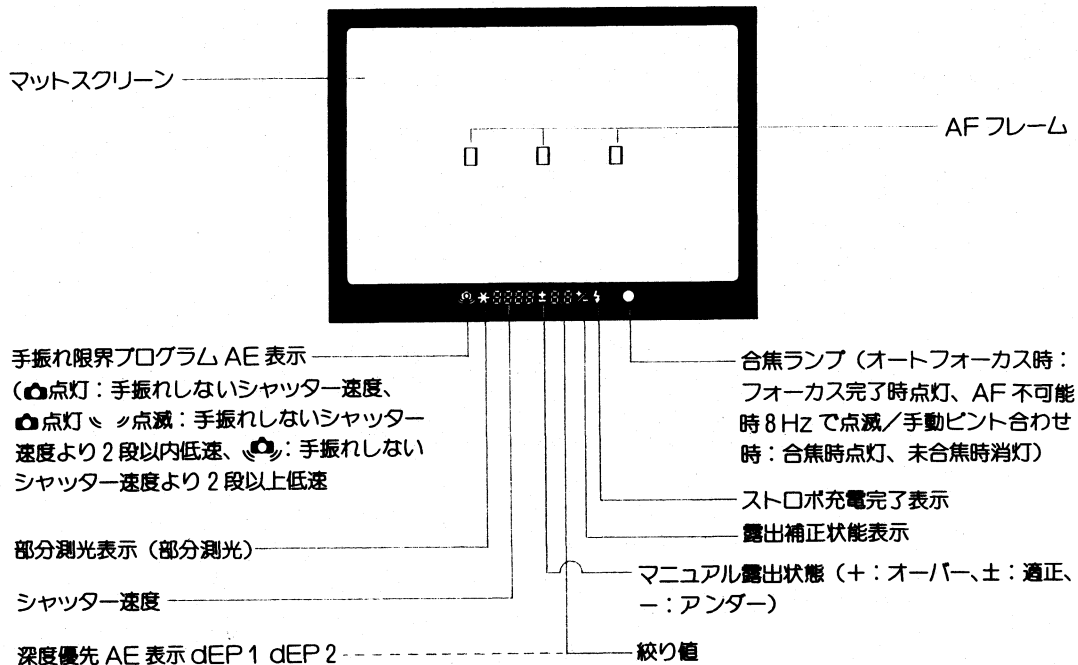
- (30)フィルム枚数計
- (31)多重露出予約回数
- (32)多重露出撮影回数
- (33)カスタム機能 No.
- (34)インターバルタイマー撮影コマ数

- (35)カスタム機能セット
- (36)カスタム機能解除
- (37)バーコードプログラム
- (38)日付・時刻写し込み

- (39)電池チェック
- (40)リモコン
- (41)セルフタイマー
- (42)カスタム機能
- (43)露出補正
- (44)フィルム在否確認
- (45)フィルム巻き戻し完了

2. ファインダー内表示の一覧

下の図はファインダー内の情報をすべて表示したものです。実際は必要な情報だけが表示されます。

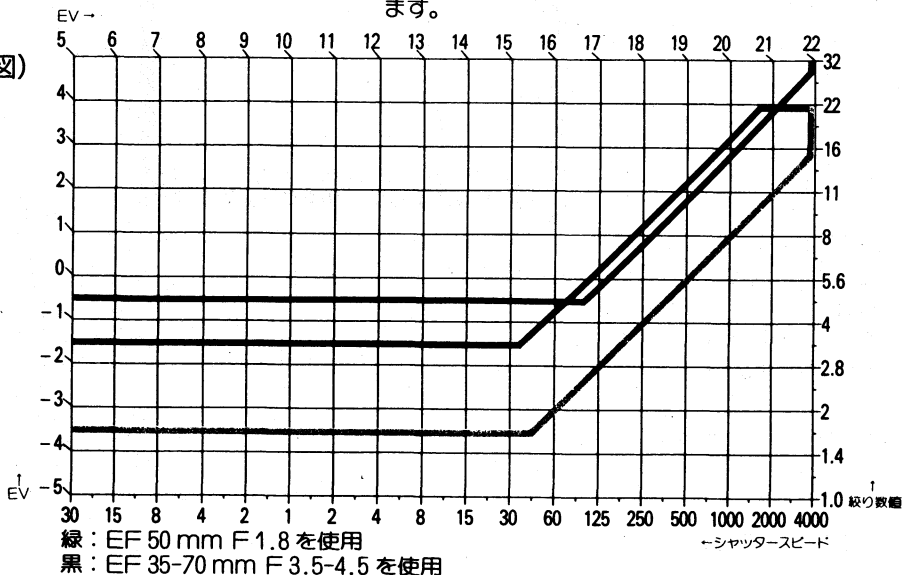


3. プログラム線図

EOS は使用レンズの特性（開放および最小絞り数字、焦点距離など）に合わせて最適なプログラム線図を選びます。自動的にセットされたシャッター速度が使用レンズの1/焦点距離マイナス0から0.5段の値になると手振れ警告音が鳴りま

す。これは一般に、1/焦点距離（秒）のシャッター速度が手持ち撮影の限界とされているためです。従ってプログラム線図は使用するレンズによってすべて異なりますが、ここでは代表的なレンズを装着したときのプログラム線図を掲載しています。

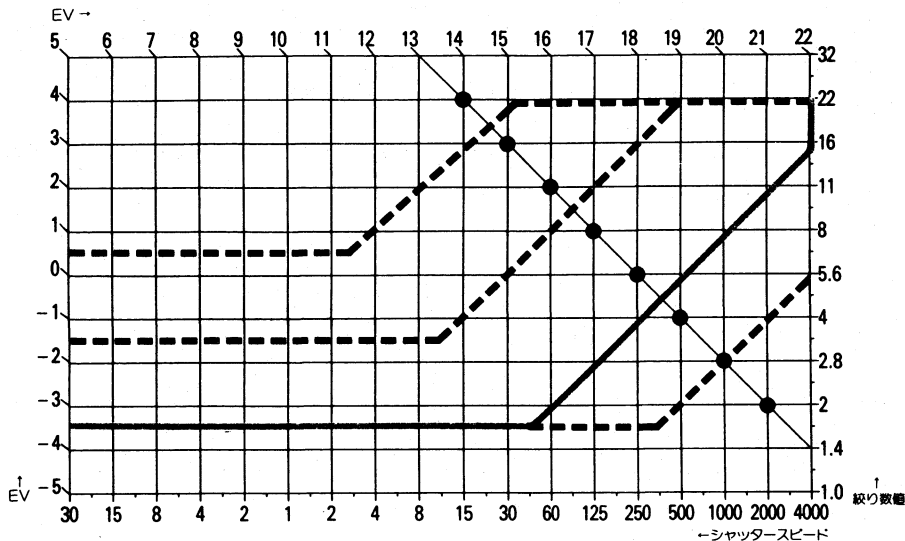
(プログラム線図)



(プログラムシフト特性図)

- ・ 図中の●はプログラム線図をシフトして得られるシャッター速度と絞りの組み合わせです。

(EF 50 mm F 1.8 を使用、EV 13 での例)



4. イメージセレクト、全自動の機能組み合わせ一覧表

撮影モード	オートフォーカス	AF フレームの選択	フィルム巻き上げ	測光方式	内蔵ストロボ
ポートレート	ONE SHOT	自動	連続撮影	評価測光	自動発光
風景	ONE SHOT	自動	一枚撮り	評価測光	OFF
クローズアップ	ONE SHOT	中央	一枚撮り	部分測光	自動発光
スポーツ	AI SERVO	自動	連続撮影	評価測光	OFF
全自動	AI FOCUS	自動	一枚撮り	評価測光	自動発光

5. AF モードとフィルム巻き上げの関係

	ONE SHOT	AI SERVO
□ (一枚撮り)	AF 完了まではリリース不可、AF 完了と同時に AF ロック (ピント位置ロック) および評価測光状態で AE ロック (撮影前に露出の値を記憶)	AF は被写体の動きに合わせて追従、露出はシャッターを切る瞬間に決定
📷 (連続撮影)	上と同じ条件で連続撮影となる。(秒間最高約 5 コマ)	上と同じ条件で連続撮影となる。AF は連続撮影中も作動。(秒間最高約 3 コマ)

6. 電池の寿命（フィルム給送本数）

新品のリチウム電池 2 CR 5、6 V を使用
(EF 35-135 mm F4-5.6 USM レンズ・24 枚
撮りフィルム使用)

* 当社試験条件による

温 度	ストロボ撮影なし	50%ストロボ撮影	すべてストロボ撮影
常温 (+20°C)	60 本	25 本	13 本
低温 (-20°C)	15 本	8 本	4 本

V 主なアクセサリー

ここでご紹介するアクセサリーは別売となります。

1. スピードライト

1) 専用キヤノンストロボ

専用キヤノンスピードライト 430 EZ、300 EZ はクリップオンタイプの大光量ズームストロボです。

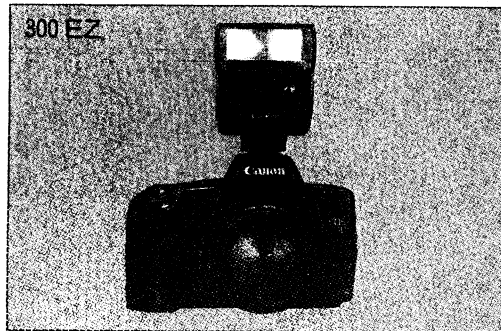
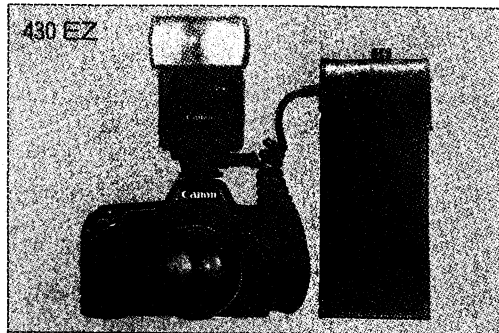
ガイドナンバーは 430 EZ が 35、300 EZ は 28 です。特に 430 EZ は大光量に加えて自動露出しレベル調光撮影、マルチ発光撮影、後幕シンクロ撮影、バウンス撮影、スローシンクロ撮影など高度な撮影が可能です。

マクロレンズを使用してクローズアップ撮影をするようなときはスピードライト ML-3 を併用すると便利です。

これらの専用ストロボはいずれもカメラを全自動にセットしておけば、フラッシュの充電完了と同時に同調シャッター速度は 1/60~1/125 秒の範囲内で自動的にセットされます。

さらに調光絞り値も自動的にセットされます。

- ・詳しくはスピードライトの使用説明書をご覧ください。



2) その他のキヤノンストロボ

次のような手順で撮影してください。調光撮影ができません。

カメラの撮影モードを M にセットします。

同調シャッター速度を 30" ~ 1/125 秒の間でセットします。

- 1/125 秒より速いシャッター速度をセットした場合は自動的に 1/125 秒にセットされます。

ストロボに調光絞り値をセットします。

ストロボの調光絞り値と同じ数値をカメラにセットします。

- 300 TL 使用時はストロボを MHi、MLo 以外にセットしてください。TTL 調光が行われず。
- 277 T、299 T のプログラムモードは使用できません。F.NO. セットでお使いください。
- 244 T は使用できません。

3) 汎用ストロボ

(1) 汎用小型ストロボは 1/125 秒以下で同調します。

(2) スタジオ用大型ストロボは 1/60 秒以下で同調します。

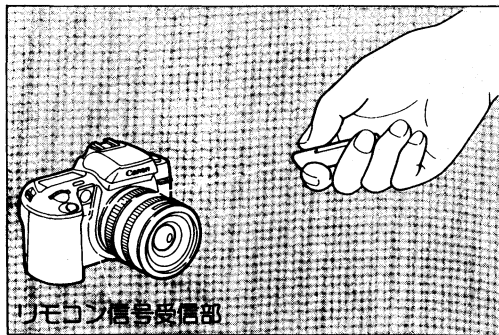
- 汎用ストロボをご使用の場合は正しく同調するかどうかあらかじめ確認してからご使用ください。
- イメージセレクトゾーンで専用ストロボを使用するとイメージどおりの写真が撮れないことがありますので、専用ストロボは使用しないでください。

このカメラにはキヤノンの EOS 専用ストロボを使用されることをお勧めします。特に他社の特定のカメラ専用とされているストロボ（一般にホットシューに複数の接点を持つ）およびストロボ用付属品を使用すると、カメラが正常な機能を発揮しなかったり、故障の原因となることがありますのでご注意ください。

2. リモートコントローラー RC-1

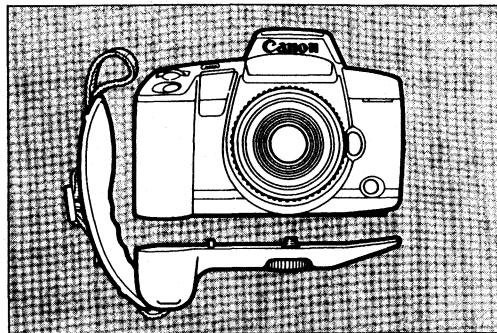
ストラップに取り付けて手軽に持ち運ぶことができるリモートコントローラー RC-1 は、離れた所からカメラのシャッターを切ることができます。セルフタイマー撮影、バルブ撮影、接写や複写などに利用すると便利です。

- ・接写や複写などをするときミラーの作動によるカメラブレを防ぐため、リモコン受信（セルフタイマー）ボタンを併用してミラーアップさせることができます（→ 86 頁）。



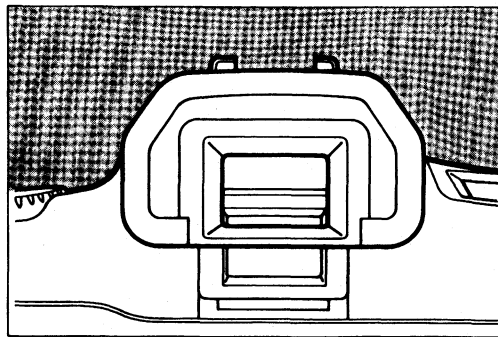
3. 延長グリップ GR-60

ハンドストラップがついている延長グリップは、カメラのグリップを大型化してホールド性を高めます。



4. 視度補正レンズ

視度補正レンズEを取り付ければ、近視、遠視の方でも眼鏡なしで撮影することができます。カメラ本体の視度は-1ジオプターですが、交換用視度補正レンズとして10種類が用意されています。実際にカメラに取り付けてファインダーを覗いた上でお求めください。



VI 取り扱い上のご注意

1. お手入れの方法

どんなに優れたカメラでも適切な手入れをしなければ、その性能を十分に発揮できません。常に手入れをするように心がけてください。

手入れ用具：ブローブラシ、クリーナー液、クリーニングペーパー、シリコンクロス等

1) レンズとファインダー接眼部

ブローブラシで砂やほこりを吹き払い、クリーナー液を含ませたクリーニングペーパーで軽く拭き取ってください。

2) カメラの反射ミラー、フォーカシングスクリーン

ブローブラシで吹き払うだけにしてください。どうしても拭かなければならないときは、最寄りのキヤノンサービスステーションにお持ちください。

3) フィルム室内

フィルムカスなどが付きやすいので、常にゴミをブローブラシで吹き払うようにしてください。ゴミや砂があるとフィルムを傷つける原因となります。

4) レール面や圧着板

クリーナー液とクリーニングペーパーを使用して拭いてください。

- ・シャッター幕には絶対に手を触れないようご注意ください。
- ・海辺で使用した後は、カメラに塩分が付着していますので特によく拭いてください。
- ・エアボンベタイプのブローのご使用はお勧めできません。

2.保管の方法

カメラケースを外し、湿気やほこりのないところに保管してください。また、カメラは長期間使用しないでおくとカビや故障の原因となることがありますので、ときどきシャッターを切るようにしてください。特に保管する場合、次のような場所は避けてください。

1)車のトランクやリヤウィンドーなどは高温になり、故障の原因となることがあるため避けてください。

2)実験室などのような薬品を扱う場所はサビ・腐蝕などの原因になるため避けてください。同様にタンスの中なども避けてください。

長期間使用しなかったカメラは、各部を点検してから使用してください。

長期間使用しなかった後や、海外旅行など大切な撮影の前には、各部の作動を最寄りのキヤノンサービスステーション、またはご自身でチェックしてからご使用ください。

3. その他の注意事項

1) 表示パネルについて

カメラの表示パネルは液晶を使用しています。液晶はその性質上、通常の使用で5年程度経過すると表示が薄くなり読みにくくなることがあります。その場合は最寄りのキヤノンサービスステーションで液晶の交換をご用命ください（有料）。

なお、液晶の特性で低温下で表示反応がやや遅くなったり、60℃ぐらいの高温下で表示が黒くなったりすることがありますが、常温に戻れば正常に表示されます。

2) bc 表示の点滅について

電池電圧が極端に低下した場合や、カメラが誤動作・故障した場合は、表示パネル上で bc が点滅することがあります。以下の操作を行ってください。

(1) 11 ページの説明に従い電池電圧を確認します。

もし電池電圧が低下していれば電池を交換してください。

(2) 電池電圧に問題がなければ、電池を一度取り出し、再度入れてください。

(3) 一度シャッターを切ります。

以上の操作を行って、bc の点滅が消えれば、正常に撮影を続けることができます。しかし、この操作を何度繰り返しても bc の点滅が消えないときはカメラの故障です。最寄りのキヤノンサービスステーションにお持ちください。

3) リチウム電池について

カメラはリチウム電池パック(2 CR5、6 V1 個)を正しく入れてはじめて作動します。次のようなときは、まず電池電圧をチェックしてください。

(1) 電池を交換したとき

(2) 長期間カメラを使用しなかったとき

(3) シャッターが切れなくなったとき

(4) 寒冷地で撮影するとき

(5) その他、大切な写真を撮るときなど

・電池をカメラに入れるときは、電池接点の汚れや指紋などをよく拭き取ってください。そのまま入れると接触不良や腐蝕の原因となることがあります。

- ・電池の分解や充電、高温下での放置、および接点をショートさせたり火の中に投げ入れることは、危険ですので絶対にしないでください。
- ・この電池は低温特性にも優れていますが、0℃以下ではやや電池性能が低下します。寒冷地でご使用になるときは予備の電池を用意し、ポケットなどに入れ保管しながら交互に使用することをお勧めします。

4) 電圧の低下とカメラの作動について

表示パネルの電池マークが点滅しても、シャッターが切れれば写真は適正露出になります。但し、電池電圧が低下しているため、自動巻き上げや自動巻き戻しができないことがあります。また、巻き上げ／巻き戻し途中でカメラが停止してしまったときは表示パネル上でフィルムマークが点滅して警告します。巻き戻しは新品電池に交換した後、途中フィルム巻き戻しボタンを押せば継続して作動します。

5) フィルムの X 線による感光防止について

フィルムはカメラに入っている、空港での X 線検査による感光は防止されません。フィルムの入ったカメラであることを検査官に伝え、X 線の照射を避けてください。

6) 電子接点について

レンズを外したときは、電子接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置いてください。

カスタム機能一覧表

カスタム機能 No.	機能の内容
1	フィルムの自動巻き戻し
2	巻き戻し時のフィルムリリーター
3	DX コード付きフィルムの感度自動セット
4	部分測光ボタンを AF 作動ボタンに変更
5	マニュアル時の電子ダイヤル
6	手振れ警告の電子ブザー
7	USMレンズ使用時、AF 後マニュアルによるピントの微調整
8	AF 補助光の投光
9	絞り優先 AE のストロボ撮影時のシャッタースピード
10	オートフォーカスフレームの表示
11	部分測光ボタンで被写界深度確認
12	部分測光ボタンで評価測光
13	セルフタイマー撮影時のミラーアップ
14	手振れ限界プログラム AE 時、シャッター速度の制限を解除
15	日時、時刻の写し込み

●この部分をコピーして携帯用としてご利用ください。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、10年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

VII 主要性能表

型式：モータードライブ・ストロボ・オートアード内蔵 35 mm フォーカルプレーンシャッター AF/AE 一眼レフカメラ

画面サイズ：24×36 mm

使用レンズ：EF レンズ群(開放測光にて使用)

レンズマウント：キヤノン EF マウント(完全電子制御方式)

ファインダー：ペンタプリズム使用のアイレベル式

視野率：上下左右とも 92 %

倍率：0.74 倍 (50 mm レンズ付き無限遠状態で)

標準視度：-1.0 ショプター (アイポイント 19 mm)

フォーカシングスクリーン：固定式、AF フレーム付き全面マットスクリーン

ミラー：クイックリターン式ハーフミラー

ファインダー情報：

- ・視野内：スーパーインポーズ式 AF フレーム
- ・視野外下部：


(1) 7 セグメント LCD によるデジタル数値および文字表示

① シャッター速度/制御連動範囲外時は 2 Hz の点滅で警告

② 絞り値/制御連動範囲外時は 2 Hz の点滅で警告

③ 深度優先 AE/dEP 1、dEP 2


(2)LCD マスク照明による文字表示

① : 手振れ限界プログラム AE 表示

② * : 部分測光表示

③ ± : マニュアル露出レベル / + (オーバー)、± (適正)、- (アンダー)

④ : 露出補正表示

⑤ : ストロボ充電完了表示

⑥ ● : フォーカス表示 (AF 測距不能時 8 Hz の点滅警告)

測光方式: 受光素子に 8 分割 SPC 使用の TTL 開放測光 (絞り込み測光は不可)

評価測光と部分測光の切り換え可能 (部分測光はファインダー画面の約 8.5%)

撮影モード

① マニュアル

② 手振れ限界プログラム AE

③ 深度優先 AE

④ 絞り優先 AE

⑤ シャッター優先 AE

⑥ インテリジェントプログラム AE (シフト可)

⑦ 全自動

⑧ イメージセレクト機能 (4 種内蔵)

⑨ バーコードモード

⑩ ストロボ AE (内蔵ストロボおよび専用スピードライトを使用して A-TTL および TTL プログラムフラッシュ AE)

手振れ警告: インテリジェントプログラム AE、絞り優先 AE、深度優先 AE 時、イメージセレクト、バーコードモード時に作動。自動的にセットされ

たシャッター速度が使用レンズの 1/焦点距離マイナス 0~0.5 段以下となった場合に断続電子音で警告 (電子音は ON/OFF 選択可能)

測光範囲: EV -1~20 (常温常湿) 50 mmF 1.4 レンズ使用換算、ISO 100)

使用フィルム感度: ISO 6~6400、DX コード自動対応

露出補正: 1/2 段ずつ ± 5 段

オートブラケティング: 1/2 段ずつ ± 5 段。露出アンダー、適正および露出オーバーの順で連写

多重露出: 9 回まで予約可能。予約回数撮影後に自動的に解除

AF 制御方式: TTL-SIR 方式 (TTL 二次結像位相差検出方式)

AF 用センサーに増幅器一体型の BASIS (Base-Store Image Sensor) 使用、測距完了時、フォーカス表示点灯と電子フォーカス音で告知

① ONE SHOT AF / 測距完了にて停止、測距完了後にリリース可能

② AI SERVO AF / 被写体の動きに追従、被写体の速度に応じて、SERVO AF と動体予測 SERVO AF を自動切り換え

③ AI FOCUS / 全自動のプログラムで ONE SHOT AF + AF フレーム自動選択、AI SERVO AF を自動切り換え

④ マニュアル / フォーカスモードスイッチを M にし、手動フォーカスリングを回すことにより可能

AF フレーム切り換え：

(1) ONE SHOT AF、AI SERVO AF 時に左、中、右、自動切り換えの選択可

(2) 全自動、イメージセレクト、バーコードモード時に各モードに応じた AF フレームを自動セット

AF 測距輝度範囲：EV 0～18(ISO 100)

AF 補助光：内蔵 AF 補助光を自動的に投光


シャッター：縦走りフォーカルプレーン式全速電子制御シャッター

シャッター速度：1/4000～30 秒およびバルブ、X 接点は 1/125 秒 (1/2 段ずつのセット可能)

セルフタイマー：電子制御式 (時限約 10 秒)

フィルム装てん：自動、フィルムセット後裏蓋を閉じると、1 枚目まで自動空送りし停止巻き上げ：専用小型モーターによる自動巻き上げ

① □ (一枚撮り)

②  (ワンショット AF：秒間最高約 5 コマ/AI SERVO AF：秒間最高約 3 コマで連続撮影)

巻き戻し：フィルム終了と同時に専用小型モーターにより自動巻き戻し

内蔵ストロボ：ペンタ部内蔵リトラクタブル式 TTL 自動調光ストロボ、並列制御式

① ガイドナンバー/12(ISO 100・m)

② 充電時間/約 2 秒

③ 発光条件/全自動、イメージセレクト、バーコードモードの一部のプログラムで逆光時および低輝度時に自動発光

④ 照射範囲/焦点距離 35mm 以上の画角に対応

フラッシュ接点：X 接点/アクセサリシュー部に直結接点あり

フラッシュオート：各プログラム AE モードにて

① A-TTL 自動調光(A:Advanced)/フラッシュ側の近赤外光とカメラ本体の A-TTL プログラムにより撮影距離、被写体条件に応じて最適な調光絞り値を自動セット、シャッター速度は 1/60～1/125 の範囲内で自動セット。フィルム面反射測光による TTL 自動調光制御、自動日中シンク口可能。

② TTL 自動調光/カメラ本体の TTL プログラムにより調光絞り値を自動セット、シャッター速度は 1/60～1/125 の範囲内で自動セット。フィルム面反射測光による TTL 自動調光制御、自動日中シンク口可能。

グリップ：延長グリップ (別売) の取り付け可

液晶表示パネル：撮影モード、AF モード、フィルム巻き上げモード、シャッター速度、絞り値、フィルム感度、年・月・日・時、電池チェック等の表示を必要に応じて行う機能を持つ

カスタム機能：15 種内蔵、選択可

電源：リチウム電池/パック(2 CR 5、6V) 1 個

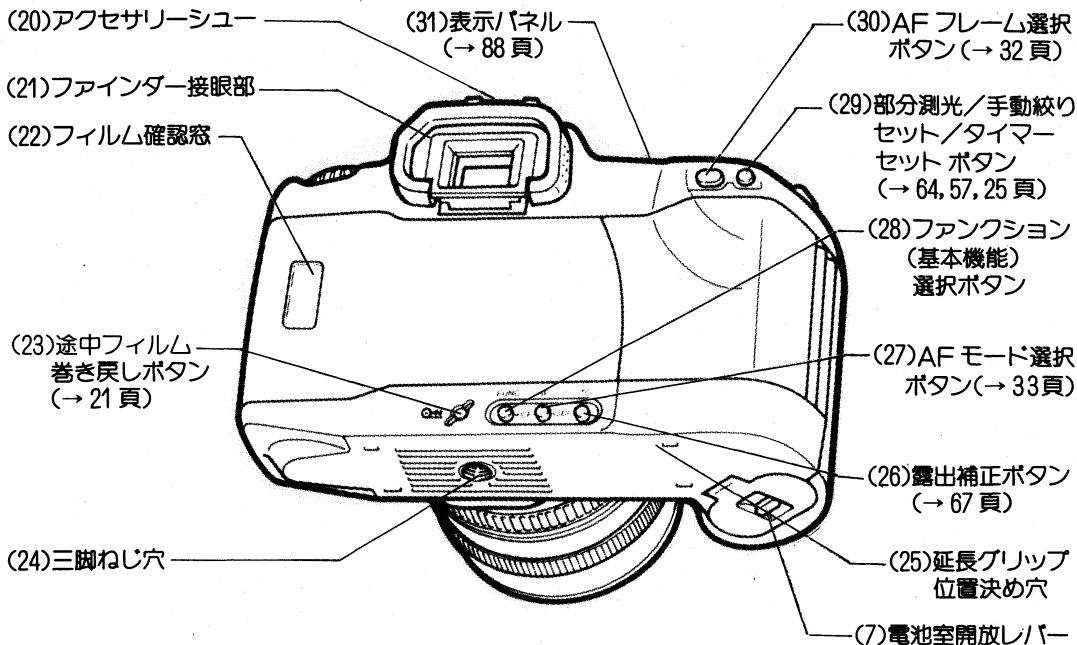
バッテリーチェック：電池チェックにより液晶パネル上で 4 段階表示

大きさ：158(W)×106(H)×70(D)mm

重量：585g (ボディのみ)

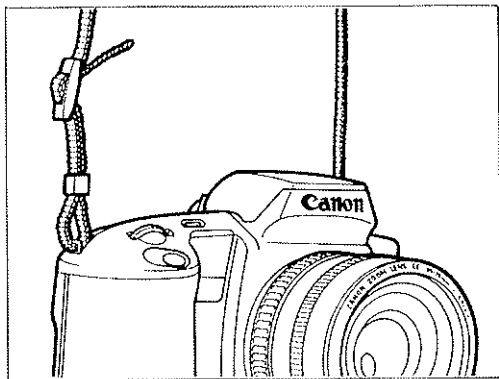
・都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

(データはすべて当社試験条件によります)



ストラップの取り付け方

ストラップ（吊りひも）の先端は、止め金の内側になるように通してください。



◎製品取扱方法ご相談窓口

お客様相談センター

TEL 0570-01-9000 (該当番号: 65)

受付時間 平日 時間 9:00~20:00 土日祝日 時間 10:00~17:00

(1月1日~1月3日を除く)

PHS・海外からの電話は、TEL 03-3455-9353をご利用ください。

※お客様相談センターでは、製品の受け渡し業務をいたしておりません。

◎修理サービスご相談窓口

札幌サービスセンター	〒060-8522	札幌市北区北七条西1-1-2 SE山京ビル1F	TEL 011-728-0665
仙台サービスセンター	〒980-8560	仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル1F	TEL 022-217-3210
大宮サービスセンター	〒330-9544	さいたま市大宮区桜木町4-247 OSビル1F	TEL 048-649-1450
銀座サービスセンター	〒104-0061	中央区銀座5-9-9	TEL 03-3573-7834
新宿QRセンター	〒163-0401	新宿区西新宿2-1-1三井ビル1F	TEL 03-3348-4725
横浜サービスセンター	〒220-0004	横浜市西区北幸2-6-26 HI横浜ビル2F	TEL 045-312-0211
名古屋QRセンター	〒461-8511	名古屋市東区東桜2-2-1 高岳パークビル1F	TEL 052-939-1830
梅田サービスセンター	〒530-8260	大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビルB1	TEL 06-4795-9100
広島サービスセンター	〒730-0051	広島市中区大手町3-7-5 広島パークビル1F	TEL 082-240-6712
高松サービスセンター	〒760-0027	高松市紺屋町4-10 鹿島紺屋町ビル1F	TEL 087-823-4681
福岡QRセンター	〒812-0017	福岡市博多区美野島1-2-1 キヤノン販売福岡ビル1F	TEL 092-411-4173
東日本修理センター	〒261-8711	千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノン販売幕張ビル1F	TEL 043-211-9032
西日本修理センター	〒540-0003	大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3	TEL 06-6941-1076

◎修理サービスご相談窓口の営業時間

銀座: 10:00~18:00 (土・日・祝日は休ませていただきます)

新宿: 10:00~18:00 (日・祝日は休ませていただきます)

梅田: 10:00~18:00 (日・祝日は休ませていただきます)

その他: 9:00~17:30 (土・日・祝日は休ませていただきます)